

特定非営利活動法人

VOL.28

南国暮らしの会

2005 年 春 季 号



平成 17 年 4 月 24 日



NPO 法人 南国暮らしの会

登録第4810100号
REGISTRATION NUMBER

目 次

表 紙			頁
目 次			1
平成17年度南国暮らしの会総会・情報交換会・懇親会のご案内			2-3
平成17年度事業計画書(案)			4
平成17年度特定非営利活動に係わる会計収支予算書(案)			5
ペナン島物語	No.263	加藤 進	6-7
ペナンライフ	No.661	小野 雅敏	8-13
龍雷の国ブータンから	No.723	山本 幹夫	13-18
「南国暮らしの会」に入会して	No.757	笠原 茂三郎	19-20
カバルアの丘 慰霊碑の「慰霊祭」に参列して	No.584	岸 ケイ子	20-21
ハンデキャップを背負っても	No.822	寺村 稔	21-22
わさびの利いた一口英語(その1)	No.700	安藤 公二朗	23
ゴールドコースト(GC-オーストラリア)から	No.586	磯崎 興志	24-25
住んでみたいオーストラリア	No.134	松岡 且視	25-29
語学留学とパスへの下見旅行	No.732	馬場 章介	30-31
第1回アジア日本人男声合唱祭	No.302	末 英樹	31-35
チェンマイ サプライズ物語パート2	No.596	中林 勝	36
海外日本語教師事情	No. 77	橋本 郁夫	37-40
海外旅行初心者のヴェトナム・アンコールワットツアー旅行	No.406	附田 雅史	41-42
関東支部行事報告	No.163	宮寄 哲郎	43-44
東海支部 特報 及び 活動状況	No.487	横井 保夫	45
九州支部報告	No.128	稲延 豁	46-48
ダバオ支部報告「日本語スピーチコンテスト」	No.341	平野 雅一	49-50
バギオ支部報告「よさこい連、パレードの人気独占」	No.227	斎木 一	50-51
ペナン支部報告 南国暮らしの会員の皆様へ	No. 18	木村 義光	51-53
友好団体の案内		酒匂理事長	54
お知らせ他		酒匂理事長	55
編集後記			56

[表紙の写真作者ご紹介] 会員番号604 平林 威 様

平成17年度南国暮らしの会総会 及び情報交換会、懇親会のご案内

理事長 酒匂 景輝

風も薫る好期を迎えましたが皆様方におかれましては益々ご健勝の事と存じます。
さて、恒例の年次総会を下記の要領にて開催致しますのでご出席賜わりたくご案内申し上げます。
ご出席出来ない方は必ず添付の別紙委任状をご提出願います。総会終了後情報交換会を開催
します。

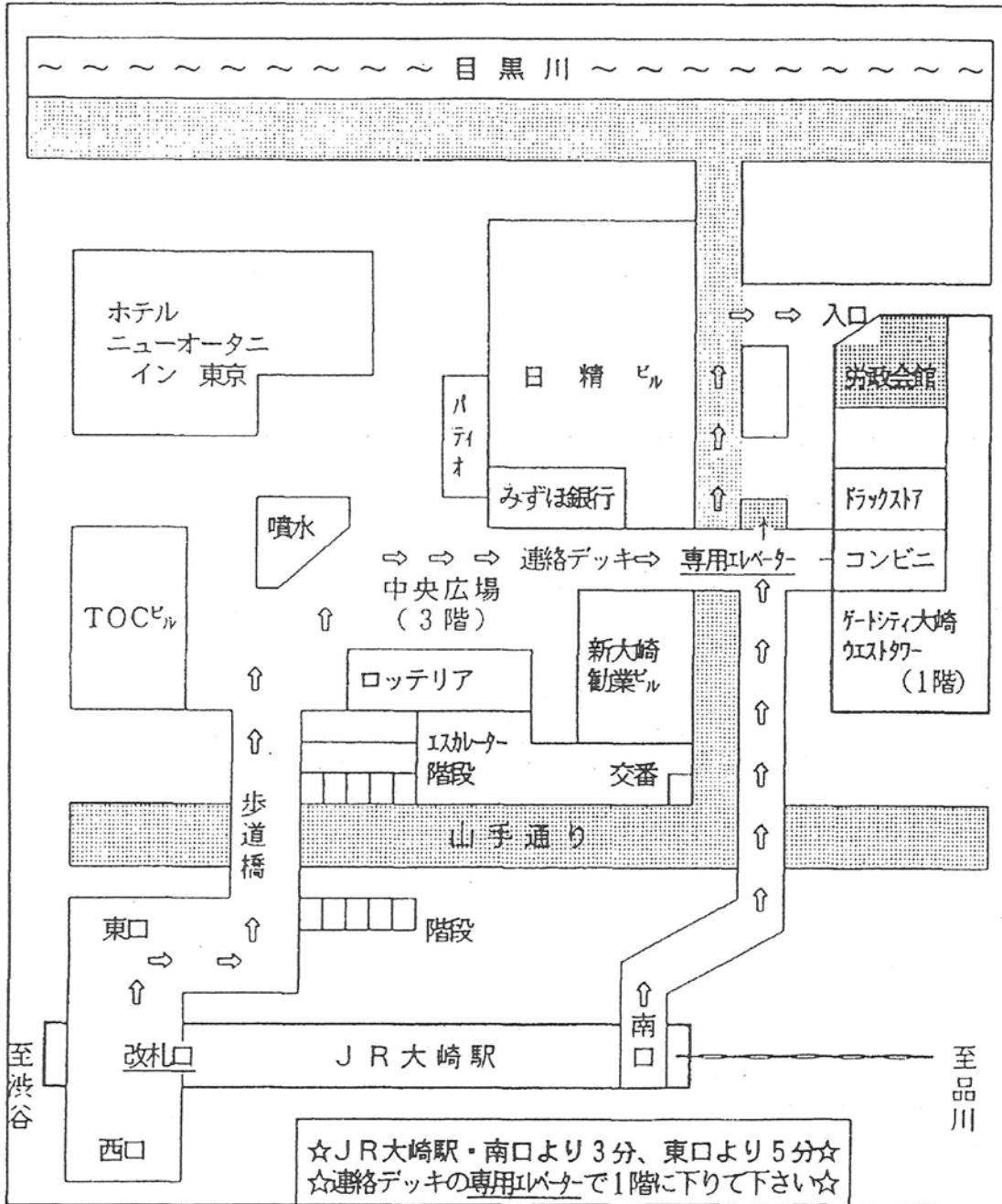
記

- 日時: (1)総会 :平成17年6月4日(土)午後1時30分～3時
:(2)情報交換会 :同日午後3時～3時半
:(3)意見交換会 :同日午後3時半～4時45分
:(4)懇親会 :同日午後5時15分～8時半
- 場所:東京都南部労政会館(JR大崎駅南口徒歩3分)案内図参照
東京都品川区大崎1丁目11-1ゲートシティ大崎ウエストタワー2階
電話 : 03-3495-4915
緊急連絡先:宮崎 090-2907-8340
高澤 090-8305-2776
- (1)総会 :議題・平成16年度事業報告及び決算報告
・会計鑑査報告
・平成17年度事業計画及び予算案
・監事改選・理事改選
・定款変更・その他
(2)情報交換会:講師、内容は追ってお知らせします。
(3)意見交換会:南の会の現状と将来、質疑 酒匂 理事長
・国内支部長ご紹介と挨拶、支部現状報告
・各委員会の役割と現状説明
(4)懇親会 「フェスタガーデン」
- 会費:
情報交換会:500円
懇親会 :飲む方 2,800円、飲まない方 1,700円
- 総会は議案を本会報に掲載し、その内容を全員の皆様に事前に検討して頂きます。
掲載事項の詳細説明は省き、質疑応答から開始し効率良く議事進行を図りますので皆様
のご協力をお願い申し上げます。
したがって、当日は本会報及び添付総会資料をお持ちください。

南部労政会館・案内図

◇東京都大崎労政事務所・南部労政会館◇

品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎・ウエストタワー2F
 ☎ 141-0032 ☎ 03-3495-4915 FAX 03-3495-4916



平成17年度事業計画書案

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

1. 事業の方針

(1) 新規事業

- * 拡大準備積立金の有効用途の具体化を計る。
- * 「会員証」を発行し、将来会員証がステータスシンボルになるよう意識、地位向上を図る。
- * 当会代表電話を統一し、代行受信システムを導入し新会員アップを計る。
- * 当会のドメインを取得し海外を含めた連絡網の更なる充実を図る。
- * 会計ソフトを購入し経理処理の合理化を図る。

(2) 継続事業

- * 会報の発行・発送事業を継続し、内容の更なる充実と迅速なる発送を目指す。
- * 当会への入会問合せ者への迅速な対応を図り新会員アップを計る。
- * 発行した「南国くらし便利帳・医療編」の改訂グレードアップを目指す。
- * HPの充実・MLの普及啓蒙を目指す
- * 支部の組織的、計画的活動のさらなる充実、推進及び1人でも多くの会員参加を推進する。
- * 情報交換会、講演会、サロン会、支部会、旅行会を開催し、会員相互の研鑽と懇親を深め、併せてこれらの活動に非会員の臨時参加を推進する。
- * わが国の退職者等を歓迎する国々の情報を引き続き収集・調査する。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所・内容	備考
会報作成	会報発行(新年・春・夏・秋)	年4回	表紙のカラー化継続 商標登録証の掲載	会員相互の情報の共有化
会報発送	会報・同封資料の発送	年4回	正確な梱包発送作業と海外発送の迅速化	約10名/回
資料等製作	問合せ・入会者への資料作成送付	随時	約500件/年	4名で担当
報告書等製作	会報同封資料の作成	年4回	会員名簿・「必携」の追加資料等の作成	4名で担当
	海外くらし便利帳・医療編の改訂準備	一年掛ける	発行冊子のグレードアップ	医療介護調査委員会
	拡大準備積立金の有効利用	一年掛ける	ホテル・旅行社などと業務提携を結び、会員の利益拡大を計る。	事業拡張委員会
	会員証の発行	夏季号に同封	会員証は、外国では名刺以上に有効である。 【メンバーシップ】	会員証発行検討委員会で検討、会員担当で作成
広報活動	インターネット・メール・リストの管理	常時	雑誌・テレビ等のマスコミも積極的に活用を計る	インターネット委員会
情報交換活動・サロン会・懇親会など	国内全支部支部総会実施 引き続き支部実情に合わせこれら行事を行う。	1回/年 随時	地域活動の推進	適時人事交流
支部活動支援	国内7支部・海外9支部に補助金支給	随時	国内支部との交流促進	海外支部の支援を強化する
通常総会	総会開催	1回/年	東京	
理事会・役員会	理事会の開催 役員会の開催	8回/年 1回/年	東京	各種委員会随意開催

(2) 収益事業：なし

平成17年度特定非営利活動に係わる会計収支予算書案

—平成17年4月1日から平成18年3月31日まで—

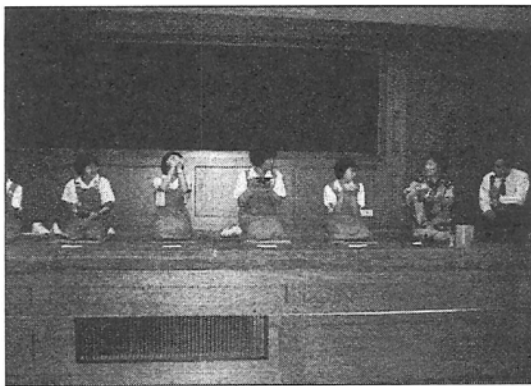
特定非営利活動法人 南国暮らしの会
(単位:円)

科 目	前年度 予算額 (A)	本年度 予算額 (B)	差 異 (B-A)	摘 要
I. 収入の部				
1) 入会金収入	850,000	1,000,000	150,000	入会金:5,000円, 想定新規入会者数:200名(前年比20%up)
2) 会費収入	2,750,000	3,115,000	365,000	会費:5,000円, 想定継続会員数:423名(継続率:75%)
3) 資料売収入	350,000	350,000	0	想定有料資料請求者数:350名
4) 寄付金収入	100,000	80,000	▲20,000	実績ベースに修正
5) 基本金等利息収入	100	100	0	
6) 雑 収 入	150,000	15,000	▲135,000	有料名刺作成料のみ計上
7) 事業拡張準備金より繰入れ	500,000	0	▲500,000	計上せず
1. 当期収入合計	4,700,100	4,560,100	▲140,000	
2. 前期繰越	296,316	327,416	31,100	前年度予算での繰越額
3. 収入合計	4,996,416	4,887,516	▲108,900	1. +2.
II. 支出の部				
1) 事 業 費	3,625,000	3,302,000	▲323,000	
①会報等事業費	919,000	1,005,000	86,000	発行部数アップ
②会報等送料費	468,000	531,000	63,000	発送の迅速化
③資料等製作事業費	417,000	415,000	▲2,000	
④報告書等製作事業費	898,000	357,000	▲541,000	5周年記念事業の後処理を含む。
⑤案内書製作事業費	170,000	0	▲170,000	「入会のすすめ」・「必携」増刷なし。
⑥広報活動事業費	106,000	140,000	34,000	
⑦講師等謝礼費	82,000	60,000	▲22,000	⑦・⑧の国内支部分は提出資料をベースに算出
⑧支部関係事業費	565,000	794,000	229,000	主要海外支部への補助金増額、海外支部長への「支部長手当」新設。
2) 管理費	994,000	1,191,000	197,000	
①事務用消耗品費	102,000	95,000	▲7,000	有料名刺作成料を含む。
②諸会・交通補助費	488,000	733,000	245,000	理事数増。役員会出席者増。諸打合せ増。
③内外通信費	202,000	234,000	32,000	電話受信代行契約。
④雑費	67,000	72,000	5,000	
⑤その他	135,000	57,000	▲78,000	ドメイン取得。会計ソフト購入。
3) 予備費	50,000	50,000	0	
4. 当期支出合計	4,669,000	4,543,000	▲126,000	1) + 2) + 3)
5. 当期収支差額	31,100	17,100	▲14,000	1. -4.
6. 次期繰越収支差額	327,416	344,516	17,100	3. -4.

注1. 会員数合計623名を想定しており、この増減により収入・経費も大きく増減するので、期央において予算の見直しを検討し、健全な運営に努める。

2000年の夏 =ペナン島= にSecond Stageを求めて「住まい散策の旅」に出かけました。ロケーション・セキュリティ・建物の品質を重点に歩き回り、今の住まいと出会いました。海に面した高台に建つ、当時完成後3年経過のコンドミニアムで、中華系マレー人が所有し内装・家具等は中国人が好むインテリアで私の趣味に合いませんでしたが、その他につきましては大変気に入り、即刻購入する事としました。家具・照明・電気製品は処分し内装及び間仕切りの全ては解体撤去しました。全て、私たちの趣味とライフスタイルに合わせた住まいに創り替えました。

不動産購入の返事をしてからの苦労が大変でした。「ペナン島物語」多難なスタートとなりました。当然ですが海外での事、文化の違い、言葉・法律問題等で困る事の多い毎日でした。ある問題が一つ解消すると、すかさず次に難問が控えている事を繰り返す「ペナン島物語」でした。そして、いろいろ蛇行を繰り返す事になりました。



そんな時、ペナン島で一人の男性 Mr.Lim と出会いました。Mr.Limは30年前、日本の大学に留学していました。北陸の冬の寒い日、風邪から高熱が出て飲まず食わずに数日寝込んでしまいました。知り合いもなく、言葉も不自由な日本のアパートで”死”を覚悟したそうです。そんな時、日本人がア



パートを訪ねて来て手厚い看護をしてくれました。その日本人の善意でMr.Limは一命をとりとめました。私たちがペナン島でMr.Limに出会ったのは幸運でした。

「私は日本人に命を助けられました」

「加藤さんがペナン島で困っているのが私協力します」 Mr.Limは我が事として私たちの為に惜しみない助言・協力をしてくれました。彼との出会いがペナン島を楽しいStageの一步としてくれました。

Mr.Limは、ペナン女子高校の生徒に日本語を教え日本の文化を紹介しています。

=YUKATA Festival= にとつながって行きました。

ある日の夕刻、帰国の為ペナン国際空港にレンタカーで向かいました。余裕を持って出かけたのですが、途中で大渋滞1時間で200mの前進 車は延々とつながり焦りを感じる状態となりました。急遽脇道に車を進めましたが、日は暮れ迷路を走り回る状態となりました。時間的に搭乗は無理と諦め車を止め、家族連れのドライバーに事情を話した所、「ついてきなさい」との返事、裏道を通り走り空港まで道案内をしてくれました。

空港前に到着するも運転席から手を挙げ笑顔で走り去って行きました。彼の先導によりまして予定

通り帰国できました。私たちはこのご家族との再会を願い探しています。ペナン島ではローカルの人達に感謝する日々、「ペナン島物語」お礼と感謝のご報告とします。

一昨年 マレーシアの人達への感謝を意を込めまして日本大使館・ペナン総領事館・マレーシア政府・ペナン州政府のご支援を頂き「日本民謡&津軽三味線コンサート」を開催し日本の伝統音楽を楽しんで頂きました。

そして=YUKATA Festival=
2005年1月28日ペナン島の「Penang Chinese Girls' High School」のコンサートホールで =YUKATA Festival= を開催しました。いずれ彼女達がマレーシアと日本の「虹の架け橋」の主役になるとの思いの「浴衣物語」です。ペナン女子高校での文化交流、180人の女子生徒で会場は満席。Festivalの前半は「お茶会」女子生徒に日本の抹茶を楽しんで頂きました。

「お茶会」終了後に津軽三味線の演奏をしました。Festivalの後半は「浴衣ショー」13才～18才の女子生徒の皆さんに「浴衣」の着付けをし、ステージにてファッションショーを



行いました。生徒さんの浴衣姿は、チャームングでとても華やかでした。フィナーレは、生徒も一緒になったの盆おどり「炭坑節」で最高潮に盛り上がりました。国際親善・文化交流の楽しいペナン島の =YUKATA Festival= でした。

「浴衣物語」につきましては昨年7月 =南の会= 「nangoku メール」で協力の呼びかけをしました。また、山陰放送のラジオスタジオとペナン島の我が家を電話回線で繋ぎ、朝の番組の生放送で浴衣

の呼びかけをしました。以降、山陰の皆様には生放送にてペナン島情報を流しています。

Festivalにはラジオ・インターネットの呼びかけで集まりました「浴衣」を持参しました。会員の皆様方のご協力に厚くお礼申し上げます。皆様からの浴衣は女子高校へ贈呈しました。

今後もペナン島を舞台にしました文化交流の活動は継続したいと考えています。

昨年の12月26日「スマトラ沖地震」の津波によりまして多くの人命が失われました。

震源地スマトラ島のバンダアチェは街の中心に建つ白いモスクを残し津波の濁流により全てが流されました。その惨状はTVでも放映されました。

隣国マレーシア政府はイスラム圏の同胞の国の復興に全力を注いでいます。被災地のバンダアチェに出向き、政府要人として復興支援の最前線にたつMr.Rahman に2月4日クアラ Lumpurでお会いし、夕食をご一緒しました。彼は平穩に生活していたバンダアチェの人々が、津波により我が子・兄弟・両親を失った災害現場の痛ましい状況の話をしてくれました。

ペナン島からはフェリーも出ているスマトラ島バンダアチェ周辺の日も早い復興を願うと共に街が落ち着いた=いつの日=にか、津軽三味線を持って出かけ、国際親善と復興支援のお役に立てればとのささやかな夢を見ている。

[追伸]

URL「ペナン島物語」

<http://www1.odn.ne.jp/~aan16830/>

文化交流物語のページに

=YUKATA Festival=の写真を掲載しています。



目の前に広がる海は、マラッカ海峡、アンダマン海へとつづいており、内海らしく静かに鈍く輝いています。そして、その向こうの半島は柔らかく霞んでいます。そんな海からのそよ風、まさにシーブリーズが心地よく吹き抜けていくと、爽やかな睡魔に襲われ、朝寝、昼寝を楽しんでいます。

何でも出来る自由、何もしない自由、と言うどなたかの嬉しい言葉に惹かれ、南の会に入り、そして間もなく、ペナンに住み始めました。

ペナン生活のコンセプト

自己責任とマイペース これが私なりに考えているペナン生活のキーワードです。

ノンビリ、ゆったり、自分の好きなように、好きな時間を過ごす。何もしない自由を満喫したいのです。そんな生活を送るにはペナンはまさにピッタリです。一方、東の横綱、チェンマイは楽しいことが多いようです。行動派の多い南の会のメンバーには、チェンマイこそ命ではないでしょうか。

友人、知人からはよくこんな質問を受けます。

- ・どうしてペナンを選んだの？
- ・毎日何をして過ごしているの？
- ・不便ではないの？

ペナンの様子については、木村支部長のホームページが、実に素晴らしく、生き生きと様相が映し出されています。ご参照下さい。

私は、現役時代から通算して今年で8回目の正月を南の国で迎えました。ペナン生活を含め、過去に住んでいたシンガポール、バンコクでの経験や、感じたことを幾つかご紹介し、それらがペナンに繋がってれば良いのですが、さてどうなりますか？

何処の国が一番好きでなの？と良く聞かれます。そうすると、即座にタイです。と答えます。エッ！じゃあどうしてペナンに住んでいるの？ どうしてでしょうか？

定年前

なぜか暇なので、ぼけ防止に何かやろうと、ふと思いつきました。タイ語では、ぼける前に発狂しそうです。取っ付きやすそうな言葉、それがマレー語でした。しかし、行ってみた本屋にマレー語が無く、インドネシア語を手にして、行きつ戻りつしていました。別に身につけようと必死になった訳でなく、冗談半分でもありました。

アジアとの付き合い

ちょうど20年前になります。台北、高雄、香港、ソウル、馬山という出張をしたのがアジアとの付き合いの始まりでした。エッ、それって仕事？単なる物見遊山だよ、と妬みや、ひんしゅくを随分買いました。

高雄では道路いっぱい広がる猛烈なオートバイのラッシュ、一家4人、5人が50ccに乗ってハイキングなどという逞しい家族。香港では工場団地を見学すると、一様に日系企業の人には上階からの排水投げ捨てを嘆き、いまだペナンでもその風習の被害者これありで、習慣は簡単に無くならないなという思い、また韓国では進出した日本企業が労働争議に四苦八苦していた頃でした。でもアジアの熱気に何故か触発された旅でした。同時に大東亜共栄圏構想をなぜか納得したものです。その訂正は後述致します。

エッそれって何語？

1988年の3月に家族がシンガポールにやってきました。妻名義の銀行口座を開設するために窓口に行き、手続きが終わった所、妻が曰く、いつ中国語を勉強したの？ エッ何？だって中国語でやりとりしていたでしょう？妻は私の後ろにいたので私がどう話していたかは判りません。相手の話の様子で判断したようです。英語でやっていたんだけれどなあ、と云うと、エッあれが英語？

シングリッシュ

末尾を飲み込んでしまいます。やたらに短縮し、文法などは意識しないのです。レタペ、って分かりますか？分からないですよ。ビルの駐車場の入り口でのやり取りです。今払うの？ いや、後払い、レイター ペイだよ！これが、レタペ！になるのです。でもペイ レイターが正しいのかな？ などとは考えないのです。

また、ロングタイムノーシーユウとなります。お久しぶり、ですか。英語など、なんで日本人が話さなければならないのか、と自分が出来ないことを棚に上げ英語に背を向けていた私もこればかりは努力するしかなかったですね。涙の奮闘記がありました。現在のペナンでも、妻が精を出している太極拳の仲間との会話も、エブリボデイ ノーカム、あっそう、お休みかな？ という感じのようです。

言葉の使い方もあります。ネバーマインドは被害者が、まあいいよ！ というように使うかと思いましたが、こちらでは、加害者が被害者に対して、ネバーマインド！ 心配するな！ でした。日本人はレストランなどでスープを誤って掛けられ、まずこんな言葉の洗礼を受け、顔を真っ赤にし怒りも言葉を発せられず、よけいに怒り心頭の場面になってしまうのです。

ビールを頼むも、出てきたのはオレンジジュースで、ビール、ビア？ 他には云い方が判らず何度もビア、ビールと叫んだあげく、出てきたのが、冷えていないビール。結構つらいものがありました。

このあたりの言葉は、時制による動詞の変化がありません(タイ語、マレー語、インドネシア語がそうです。中国語も多分そうです)。英語に直せば、I go tomorrow. や、I go yesterday. となります。最初の頃は文法の迷路に入ってしまう、アー、とかウーの連続でしたが、単語をならべる、文法は気にしない、と云うポジティブ回路になってからは相手が解ろうが解るまいが意志を伝えるために話すようになりました。

シンガポールの発展

すざましい勢いで発展をしました。私が赴任した1987年当時は、オフィスで働く女性もストッキングはまれで、素足に木のサンダルをはいてパタパタと歩いていました。もっとも少々郊外でしたが。

リークアンユー首相率いるPAP(人民行動党)は経営者団体から労働組合までを傘下におき、野党はごくわずかで、若い官僚が思いのとおり腕を振るい国の発展に邁進していました。

基本的に国有地ですから、インフラ基盤の整備は素晴らしいスピードで進みます。道路を作るとなると、邪魔な建物(アパート)は、即、撤去です。勿論転居先は用意されます。

気の利いた官僚は、思い通り辣腕を発揮した後、35歳位で役割を果たし、民間に移ります。

あまりの見事な発展、多分小さな国であることの利点を最大限に活用した結果でしようが、発展を上げてしまうと、次なることへの限界やら、余りの閉塞感に優秀な若者がアメリカ、カナダ、オーストラリアなどに流出を始めました。

独立記念日の首相演説では、君達若者は何故この国の発展に寄与しないのか？と涙ながらに訴えていました。

住んでいるアパートの名前

今住んでいるアパートはPearl Viewという名前です。

プロパンガスの配達を頼むのですが、住所を聞かれ、パールビュー、と答えると何度も聞き返されます。そこで、この前火事のあった建物だけれど、と云うと、なんとか判ってくれます。

配達に来たので、パールビューでは分からない？と尋ねると、パークビューかと思った、といます。じゃあなんと云うの？と聞いてみると、パールビュー、と云います。パークのク、パールルの、を飲み込んでしまうので私には聞き取れませんが、真珠はパールではないようです。

ここペナンでは至る所に、ムティアラと云う名称が目につきます。Mutiarahはマレー語でPearlの事です。

微笑みの国タイ

タイは大乗、小乗の違いはあるものの、同じ仏教の国。理屈ぬきに溶け込めそうな感じになります。微笑みのかなりの部分は、私の人間性というより、フトコロのお金に対してでしようが。これを錯覚すると財産を失います。

バンコクは、クルンテープに始まる長い長い名前ですが、個人の名前もとても長く、そうそう簡単に覚

えられません。現王室はちょうど明治維新とほぼ時を同じくして、起こったようですが、一般庶民もその際に姓を名乗るようになり、一部の特権階級が王様から戴いた名前を借用したようです。ちなみに今の王様はラマ九世でバンコクにはラマー世通りから九世通りまでの大通りがあります。国王は一人の男性としても兎に角素晴らしい才能に恵まれ、人格者でもあり圧倒的な崇拜を受けています。

私は、丁度アジア通貨危機の真ただ中に在任していましたが、仕入れ価格があつという間に2倍です。もうお手上げと云いますか、手を上げる気にもならず、痴呆老人を装うばかりでした。そんな中でもオフィスで働く女性は、あだ名、愛称を仲間内では言い合い、アヒルちゃん、コブタちゃん、ニワトリちゃんなど、それが実にピッタリと名は体を現し笑ってしまい、まあ酒の肴にして憂さ晴らしをしていました。

一年半ほど、住んでいましたので、今でも飛んで行きたい気持ちです。

バンコクの人口は、公式には7百万、多くて8百万人位でしょう。実際には1,100万から1,200万人いると言われていています。公式とは住民登録されている人の数です。つまり日本と違い、住んでいるところであっても、勝手に住民票は移せないのです。住宅など、キチンとした不動産の取得やら何やらと条件を整えないと移せないのです。

勿論住む事自体は不法ではありません。何が問題になるかといいますと、選挙です。選挙の日程は、数日前に決まります。そして、何となく、非公式か、公式か判らないのですが、もっともらしく、選挙当日は会社を休みにして欲しい、当然有給です、と伝わってきます。そうなるともうおしまいです。ローカルのスタッフに、本当にそうしないといけないの？と聞いても野暮な話になってしまいます。

半日？ まさか一日ではないよね？ とんでも無い話です。田舎出身者が多く、往復2日、選挙当日を入れて3日必要なのです。選挙権は住民登録された地にありバンコクではないのです。とてもその為に、お金を掛け、片道10数時間もバスに揺られて行くのかね？とは聞けません。

カラオケ上手、話好き、人前が気にならない、こんな要素が外国語が上達する人の条件でしょうか。音感に優れ、耳にした音(言葉)をそのまま口に出せる。少々間違っても気にしない。これが出来れば苦労はしないのです。でも、普通の日本人は、そう

はいかないですね。中国人がカラオケ上手か判りませんが、他の点は、そのとおりですよ。

北京での2008年のオリンピックに際し、英語の出来る人を600万人作ろうと云う作戦を当局がたてました。でも英語を学ぶ人達のスローガンは、英語を身につけ世界中で金儲けをするぞ！でした。動機がなんとも直裁でハッキリしています。

木は木、花は花、鳥は鳥

シンガポールで多く植えられている街路樹の名前を尋ねました。ウーン、あれはインスタントツリー。

エッ？ 早く育つから！

あの花は？ あの鳥は？ と最初の頃は色々聞いてみました。殆どの場合、無視されるか、なんでそんな事を聞くの？ あの鳥の名前を知ると金になるの？あの花は売れるの？要は金にならない事には興味を示さないのです。そういう利にさとい人達です。ペナンの不動産屋さんも基本的には同じです。ですから日本からの旅行者にアパート、コンドミニアムを案内しても一銭にもならない訳です。

そこを何とかお願い！と頼んでいる居住者は本当に親切です。私はやりませんが。

タイのお坊さん

一人前の男性は、必ず、出家修行を済ませないといけないのです。その為、二十歳になると一ヶ月の出家修行休暇を有給で出すことが雇用主には義務付けられています。小乗仏教ですから、あくまで自己を高めるための修行です。衆生を救うと云う発想ではありません。その戒律は大変厳しく、ために、人々は喜んで喜捨をします。

昨年、木村支部長引率によるチェンマイ旅行がありました。そのお寺の数に圧倒されますが、まだ子供に近い少年僧を数多く見掛けました。あんな子供たちも自発的に出家するのか不思議に思って案内の女性に聞くと、親兄弟など親族に不幸があった場合は、弔い、お清めを兼ねて、子供が供養をする為の出家です、との事でした。

お寺も、犯罪者の駆け込み寺のような所もあり、特に女性は気をつけたほうが良いと云う話もききます。

イスラム教

これは正直、なじみ難いですね。最後発の宗教ですから、古い宗教の良い所を取り入れ、一番進

んでいる面もあるようです。イスラム教からすると、キリスト教は同じ経典から出ているもので、親戚扱いをしているとのことですが、さてどうでしょう？

アラブ首長国のドバイで中近東の取引先との会議に出席したことがあります。夜は、一応食事会となります。言葉も不便、宗教の話も出来ない、アルコールは無し、こんな食事会を想像して見てください。惨めさこの上もありません。まさに砂を噛むような、針のむしろに座っているようでした。

同じ人達とシンガポールで食事をしました。全員とは云いませんが、もう呑めや、歌えの大賑わいでした。

マレーシアとインドネシアでは、インドネシアの方が宗教の規律と国の法律において宗教の規律が少し緩やかなようです。もっとも、インドネシアは広すぎて固有言語も大変な数です、民族もしかりですから、そう簡単に、言い表せないですね。国の法律とイスラムの教えが背反したときは、どうするの？と聞いたことがありますが、イスラムの教えも知らないヤツに何でそんなことを答えなければいけないの？という感じでした。

インドの取引先の方が日本に来ると必ず、すき焼き、しゃぶしゃぶ、でした。牛なんか食べて良いのか？と聞くと、ホーリー カウ(聖なる牛)はインドにいるものだけと、何とも都合の良い理屈を言っていました。雌牛は牛乳を出すからまだしも、雄牛は何の役にも立たないからほっておかれます。やせこけた土地にわずかばかり生えている草をはみ、とぼとぼと家路に向かう、あばら骨の浮き出た彼らを見ると、本当にホーリーカウかね？と疑ってしまいます。でも、人間は自分を取り巻いている世界の呪縛を解放した時、そのリアクションは恐ろしいものですね。

チャンプル、チャンポン

これはマレー語、インドネシア語でミックスすることです。ご飯は、ナシと云いますが、ナシチャンプルは混ぜご飯です。長崎ちゃんぽん、チャンプル街道など、海によって繋がりがあ証左でしょうか。インドネシア語を勉強する時に、最初に覚える言葉は、人はオラン、飯はナシ、魚はイカン、菓子はクエ、と云う表現です。取っ付き易いのですが、難しいというか、根気がないから、ここから先に進まないのです。それでも、チョット話すとびっくりして喜ぶ様を思い出し、辞書を引いています。

ブルーモスク

KL(クアラルンプール)のお隣のセランゴール州の州都シャーラムに息をのむような秀麗なブルーモスクがあり、観光案内には必ず乗っています。ある日、ここを訪ねました。KLからセランゴール行きのバスに乗れ、と案内にあります。バスターミナルで、その辺にいる人に聞きます。ブルーモスクに行きたいけど、どのバスに乗れば良い？何人に聞いても皆、首をかしげます。どうも知らないようです。そんなはずはないと案内の写真を見せると、ああ、これならあのバスに乗れば良いよ！これは何と言え判るの？ マスジットシャーラム！(シャーラムのモスク) イスラム寺院は英語ではモスク、マレー語ではマスジットだからこの国では、モスクなんと言ったら失礼な話なのでしょうね。

中国系

何処の国に行ってもいますよね。特にこの近隣は多いのです。しかし国によって彼らのみすぎ、よすぎ、には違いがあるのです。簡単には表せませんが、例えば、名前、姓名は個人にとって凄く重要ですね。インドネシアでは、中国式の個人名は禁止されています。インドネシア風の名前になります。彼らが集まってもまず中国語では会話をしません。大変な気の配りようです。インドネシア語か英語です。シンガポールに来て、何の遠慮も無く中国語で会話できるのが嬉しいようです。

タイでは自発的に名前を変えています。中国系がこれほど溶け込んでいる国はあまりないのではないのでしょうか。その分、中国語を若い世代は話せなくなっており、勿論タイ語がベースですが、外国語は英語を学ばせています。これは金持ちのケースです。こちらの金持ちは、とんでもない金持ちです。そのスケールにはもうビックリです。相続税がありませんから、金持ちはより金持ちに、となります。もっとも我々が言うところのタイ人は、雲南省の昆明あたりに住んでいたタイ語族が南下してきた訳ですから、中国の親類のようなものではないでしょうか。タイの王朝、都も歴史的に南下してきました。

シンガポールは中国系の国ですね。でも国歌はマレー語ですし、それなりの配慮は至る所でしています。

ここに5年ほど住んでいましたので一番馴染みがあるのですが、如何せん生活コストが高くなってしまい、遊びにも行けません。生活すべてに監視さ

れているような閉塞感があります。

マレーシアはご承知のようにブミプトラ政策をとっています。会社を設立するに際し、またオペレーションを始めると至る所でブミプトラ政策に違反していないかのチェックが必要になります。真面目に考えると逃げ出したくなります。リタイアメント生活はそういうことを意識しなくても住めますからなんとでも幸せです。中国系はここでも金儲けに邁進ですね。でも副大臣にはちゃんと中国系を配したりして、押さえをしているようです。

かつてバンコクでアジア大会があり、高橋Qちゃんのマラソン優勝に沸いていた頃、マレーシアではコモンウェルス大会(英連邦競技会)を開催していました。日本軍が12月8日にコタバルに上陸し、ペナンを12月15日に陥落(戦闘はナシ)させ、ジョホールバルーは翌1月末、と破竹の勢いで侵攻する中、戦闘らしき戦闘をせず雲を霞みと逃げまくった英軍。ジョンブル魂はどうしたの?でしたが。終戦後また英国が、宗主国面をしてやってきました。そんな英国を盟主と仰ぐ英連邦競技会に参加し、主催をしている事をなにか不思議な感じで見えておりました。

ブミプトラとは土地っ子を意味します。でも本来の土地っ子、オランアスリ(原住民)は少人数ですが実に多種の何々族が存在しているようです。彼らはモスレムとは限りません。

一般的に我々がマレー人といっている人達は、スマトラ島のメダンや、パレンバンから渡ってきた人達です。バハサムラユ、バハサマレーシア(バハサは語に相当)と云いますが、ムラユはマレー半島とスマトラの東海岸エリア、要はマラッカ海峡を挟んだ地域の言葉、マレーシアは国の単位での言葉という使い方のようです。

RM (リングギットマレーシア)

タイから飛び火したアジア通貨危機に際し、投機筋に対抗するためにRM防衛策を打ち出しました。結論からすると、今日までは大成功であったと思います。

これからどうするのでしょうか?いつまでも、対USドル固定相場を続けることは出来ないですね。変動制に移行すれば、対USドルでは、間違いなく切り上げになるでしょう。そうすると1RMが40円、50円になりますね。もっといくでしょうか?

この地で15万円の年金生活をおくれたのに25万

円の生活になってしまいます。さあ、どうしましょう。投機筋との戦いの基本の一つに為替政策上で実需原則を採ったことにありましたが、これを守れるのでしょうか。

イスラムの教えに、正当な生産活動によってのみ利益を得る事が出来る、とあります。金が金を生むと言う金利は本来忌むべき事なのです。実需原則を取り払うと、正に投機でマネーゲームになってしまいますから難しい所です。

ワフサン(Vision)2020というのがあります。一般的には、マレーシアが2020年に先進国入りをするというスローガンのマハティールさんが表明したものです。

これは、西欧型の先進国を意味するのではなく、イスラムの教えに基づいた豊かな精神生活、色んな環境と調和した世界のようなようです。この時に外国為替政策をどう展開するのか興味のあるところです。

それは別にして、現実には25万円は厳しいから、そうすると次の地を探すことになるのでしょうかね。

ペナン

最後にペナンです。

日本人が多いですね。特に1、2月は旅行者を含め膨れ上がる感じです。

ペナンの経済にとって日本人観光客が多いのは嬉しい限りでしょう。鳥インフルエンザの影響で観光客が激減した時は、本当に元気がなかったですね。

シンガポールのような息苦しさがなく、静かに、少ない予算で生活をしていくには適したところです。生活インフラが整っており、それらを安いコストで利用できること云うことは本当に感謝です。でもチェンマイに比べると2割位は高いでしょうか。特にアルコールが好きな人にはその差が拡大します。古い都で文化の香りも高く、かの地がお勧めです。

ペナンを言い表すときに、多民族、多宗教が融合した街、と言うのは嘘ですね。融合はしていません。お互いの存在を認め、その違いを理解し、ぶつかり合わない工夫をしているのです。自分たち民族のアイデンティティを色濃く残し、子孫に繋いでいます。

日本人にはこの違いを認め合うことがどちらかと云えば苦手なんですね。なんでも一緒にないと気持ち悪いのです。聖徳太子の教え、和を持って尊しとなす、の誤解ですね。そういう日本人が、大東

亜共栄圏を考えても、日本色に染めようとするから成立しないのは自明の理です。この地に暮らしていると毎日が新鮮であり、反省であり、日本人とは？と考えさせられます。

中国人、中国系と記してきましたが、本当は広東人、福建人とかはつきりさせるべきでしたが、そうするとエンドレスになってしまいます。ご勘弁ください。長いお付き合いでお疲れ様でした。

龍雷の国ブータンから

会員番号723 山本 幹夫・恵美子

皆様、大変ご無沙汰しております。JICAのシニアボランティアとして建造物の安全性指導のため夫婦随伴でブータンに赴任してから、3ヵ月が経ちました。日本では、会員担当の1人として会に参加させて戴いておりましたが、その頃を大変、懐かしく感じております。

今回は、会のご依頼により、日本人と容姿が良く似ており、丹前のような独特の民族衣装を身に着けたブータン人の国での生活状況等について、夫婦2人の印象を含めて紹介させて戴きます。

1. 一般概要

ブータン王国(Kingdom of Bhutan)は、君主制(国王親政)で首都はティンプーにあります。面積は日本の九州程度で、人口約68万人(2000年政府推定)、ブータン人(チベット系)60%、ネパール人25%、アッサム系先住民等15%からなります。公用語はゾンカ語と呼ばれる民族言語ですが、第2言語として英語が一般的に使用されています。

国の略史として、9世紀に北方から到来したチベット人がヒマラヤの先住民と融合し、17世紀にラマ教高僧が現国土に相当する地域での聖俗界の実権を掌握。1907年に現王朝の初代国王が即位。1947年インドの独立と共に独立国として認定され1972年に国連加盟、現在、第4代ジグミ・シンゲ・ウオンチュク国王が実質的に統治しています。JICAの先輩である西岡京治氏の約30年間に亘る貢献(農業指導により爵位“ダショー”を戴く)、国連加盟時の日本の支援等の経緯により極めて親日的です。

国家予算は、約300億円(2003年度)、歳入は、若干の税収及び水力発電所によるインドへの売電収入が約150億、残りがインド等からの財政支援、インド、日本等のプロジェクト無償援助、借入金等からなります。また、就労者のうち農業が約70～80

%、公務員が約1万6千人、学童は約16万人で、1口で言えば、農業と公務員と若者の国と言うこととなります。

現在、在留邦人は約100名で、JICA関係者等が8割程度、残りの人は現地で結婚している人、または留学/仕事等をしている人です。

通貨は、ブータン通貨Nu(ヌルタム)、インド通貨Rs(ルピー)が使用されており、最近数年間、**1Nu = 2.5円**で換算されています。

2. 地形及び気候

ブータンの緯度はほぼ沖縄と同じ、また、経度はバングラデシュと同程度(時差3時間)で、ネパールの東側、中国の南側に位置しています。詳細には、中国と接している部分を除いてブータンの東、南、西側は、インドの盲腸的な形状をした地形によって囲まれています。

南部は標高200～300m程度、北部はヒマラヤ山脈の麓で標高7000m以上の山に接しており、北高南低の地形となっております。また、東西方向への移動は、南・北方向に数本の山脈が走っているため、山・谷越えとなり、東部の端までは2日間の移動日数が必要となります。

気候は、北部が山岳性気候、首都ティンプーのある中部は内陸性、南部は亜熱帯性に属しており、南部は全般に南西モンスーンの影響が強いため降雨量が多い。国全体として、6～8月が雨期、9月～翌年5月が乾期と言えます。

気温は、首都ティンプー(標高2300m程度)では、8月で最高25℃、最低17℃、1月で最高12℃、最低-1～-3℃程度であり、また、南部の国境の町ブンツオリンでは、夏の最高が40℃、冬の最低でも10℃を下らないと言われています。

3. 国内の制度及びインド国境周辺に関する安全状況

ブータンの地形は前述のとおり、国全体が日本の日光いろは坂、または箱根の峠のような形状をしており、極端に言へば、随所でジェットコースターが楽しめます。従って、隣国インドにとっては、北側中国に対する天然の要塞となっており、インドから多額の資金援助を受けて手厚く保護されています。

国会は定員150名で年2回開催されます。105名が選挙によって選ばれた国民代表、10名が仏教委員会によって選出されて宗教界代表、35名が国王の指名による高級官僚と各県の知事から成っています。国民代表の選挙は、地域毎に各戸の代表が寄り集まり、投票ではなく合議制で決めるため結果として有力者が指名されることとなります。なお、国会の審議についても合議によって決まります。内閣は内務、情報、大蔵、厚生、教育、通産、農業、公共事業、外務等11省の大臣から成り、大臣は国会議員の投票により選出されます。また、内閣議長(首相職)は、輪番制になっています。ブータンには制服組として陸軍、近衛兵、警察があり、比較的優秀で親しみ易い雰囲気を持った人が多いようです。

現国王(生年月日、1955.11.11)には、4姉妹の王妃との間に10人の子供があり、勉強家でカリスマ性があるが親しみ易く、国民から厚く信頼されています。国内の政治、治安は安定しており、殺人、盗難等は極めて少ないと云われていたが、最近ではティンブーの銀行で強盗未遂・殺人事件等があり、更には、国王の暗殺計画があったと噂されています。

ブータンの南側は、インドの盲腸的な地形に囲まれているため、インドの独立派反政府組織がしばしばブータン側に侵入し、過激的行動を起こしています。2003年12月に国王自ら率いる軍隊によって、領土内から過激派組織を一掃したが南部の国境沿いの多くの町については、現在でも日本人を含む外国人に対して立ち入り禁止となっています。また、南部ばかりでなく外国人は全ての地域の移動に対し、予め内務省移民局にルートパーミットを申請し、チェックポスト毎に許可を受けて国内を移動することになります。

4. 日本からの入国

ブータンの航空会社は唯一の国営航空DRUK・A

IR(ブータン航空)1社だけであり、空港も首都ティンブーから車で1時間半離れたパロに1箇所だけあります。DRUK・AIRはバンコク、デリー、カルカッタ、カトマンズ、ダッカ等とパロ空港を結んでいます。日本から利用し易いのは、バンコク経由となります。成田～バンコク間は約6時間、往復運賃5,6万円程度ですが、パロ空港行きがバンコク空港で早朝の一日一便であるため、バンコクで一泊となり、パロ空港まで約2～3時間、往復約7万円の運賃が必要となります。但し、帰りについては、パロ空港、夏季早朝、冬季午前11時頃発であるため、バンコクで日内に乗り継ぎが可能となります。

昨年の11月から約100人乗りのエアバスがパロ～バンコク間に就航し、混雑は改善されつつありますが、観光シーズン中は、1～3カ月前に予約をいれておく方が良いとされています。パロ空港から首都ティンブーに貸し切りタクシーで入った場合は、24km、約1時間半、800Nuが相場となっています。又、陸路については、南部国境の町プンツオリンからの入国が可能であり、この場合は、インドのカルカッタから国内線のダージリン地方のシリグリ(パグドグラ空港)まで飛び、車で5～6時間のジャイガオンまで行きます。その後は、1本の溝と門とからなっている国境を通過してブータンに入国となります。インド側のジャイガオンは国境の町プンツオリンの食料、物資供給の町として栄えてきたため、両方の町は溝一本で接し多くのブータン人、インド人がノービザで国境を往来しています。いつも会員の往来管理でお世話になっている博学の会員番号80阿部様から国境を跨いで乾杯しようとの楽しいロマンチックなメールを頂きましたが、それも可能のように思われます。但し、外国人が入国する場合は厳しくチェックされますので、十分な準備をお奨めします。

5. 物価

ブータンで生産されているものは非常に安く、日本の1/10～1/20程度と言われています。然しながら、国内で生産されるものは農産物、電力程度で殆どのものがインドからの輸入品または日本からの電気製品等で、かなり割高となり、また、プロパン、石油、ガソリン等も日本の値段と大差ないようにです。

今年から、インドへ輸出している電力を国王の努力により値上げに応じてもらい、その結果、公務員

の給料がいきなり1.4倍と成りました。それまでは、初任給が約1万数千円、局長級が5万円程度(年収は給料のみでボーナスなし)でしたので、物価が日本の1/10 ~ 1/20程度と言うのは納得できます。我々こちらでの生活は、当初のイニシャルコストは掛りますが、その後は食費が主となり、住宅費を除けば1ヶ月の生活費は数万円から10数万円程度と思われれます。

6. 観光

ブータンはシーズン中に、至る所できれいな花が咲き、スイスに似た風光明媚なきれいな国で各種トレッキングコースも設定されています。

2001年に日本から訪れた観光客は約1100人で第2位、第1位が倍近い人数の米国、3位、4位が英国、その他ヨーロッパ諸国の順となっています。

ブータン政府は環境保護、インフラ整備に重点を置き、国内旅行社に対して観光客1日1人当たり200米\$の公定料金を定め、その内、4割程度が政府収入、残りがホテル宿泊費、交通移動費、食費、経費等になっていると言われています。基本的に一律料金であるため、安いホテルに泊まって市内を散策しても、1日10時間車をとばして大旅行しても、また、ガイド、馬、シェフを付けてトレッキングに出かけても同一料金となります。

入国は、日本国内にブータン大使館がないため全て旅行社を通してビザを取得することになり、旅行案内書「地球の歩き方」によると、日本国内に10社程度ブータン観光を扱う代理店があるようですし、ブータン国内においても、日本人が勤務している代理店、日本語の話せる現地ガイドも沢山います。

因みに観光シーズンは3月から5月、9月から11月までで、特に10月はツェチュと呼ばれる有名な祭りが各地で開かれ、大変混雑します。

7. 住宅、日常生活

首都ティンブーは、人口7万人弱、国の中央部よりやや西側に位置する坂道の町で、町の南北方向に川が流れ、その川に沿って市街地が形成されています。現在、ティンブーは急ピッチでインフラ整備が行われ、いたる所で地面が掘り返され、埃くさい町となっています。高速道路が建設され、また、5階建てのホテルが町中で建設されていますので、数年後には、見違える程のきれいな町になると思

われれます。

我々は、たまたま、前任者からの引継ぎにより職場の上司の借家に住んでいます。場所は、西側の山の麓にある上部モチタン地区と言われる住宅街で、国王の身内・親戚等が住んでおり、因みに、隣が大家で局長、その隣が大臣でいつも護衛がついています。日本では想像もつかなかった場違いなところに住んでおり、戸惑いを感じております。借家は、1戸建て4寝室、家賃Nu 23,500で借りています。それでも、他の日本人よりは安いようですが、部屋が非常に広いため、冬季には寒く、時々、輸入の灯油が品切れとなるため苦労しています。

ティンブーでは、空きスペースに場当たりに住宅を建設し、その後に道をつけるため、地図、住所もありません。主な家では、私書箱を使っており、我々の住所もJICA事務所となっております。

通勤は、往きが標高で約250m下り、川の反対側の事務所まで約45分、還りは一時間以上の上りとなりますが、帰りはタクシー等を利用しています。本日3月1日、昨年末に約50万円で注文したスズキALTO LXi(800cc軽)がインドの工場から手元に届きました。地元では一般的のようですが、フェンダーミラーは右側のみ、タイヤ周りの泥除け、室内のラジオ等はなしで、地元の修理工場別途追加として取り付けて貰うとのこと。発注から工場生産、輸送で6週間とのことですが、実際には8週間以上掛かるようです。なお、当地では無税で購入した外国車は人気があり、帰国時には若干の値下げで引き取りたいという希望者が多いようです。

日本人の多くはドルの当座預金口座を使用してチェックでお金を引き出していると思われれます。ブータンでは、外貨は貴重であるため、ドル現金での引き出しは、1ヶ月500ドルまでに制限されています。緊急時の隣国への脱出のために、JICA関係者は予め、インドのビザを取得しており、緊急脱出時の交通費等のために、ドル通貨を手元において置くようにしています。地元の通貨ヌルタムについては引き出し制限がありませんが、1万ヌルタム毎(厚さ約1cm、日本円で2万5千円)にホッチキで留まっており、それを外すのに難儀します。

ブータンで生活情報として欠かせないのが犬の問題です。渡航前に、肝炎、破傷風、狂犬病の予防接種を受けていますが、ブータンは犬の天国で至る所に犬が屯し、タイのチェンマイと良く似ていますが、圧倒的にティンブーの方が多そうです。特

に気を付ける必要があるのが屋敷犬で一軒あたり4、5匹の犬がおり、縄張りに侵入すると確実に噛んできます。大勢のJICA関係者が噛まれており、更に、複数の獣医も被害にあっています。数の割に死骸を見たことがないので、恐らく共食いをしていると思われませんが、犬は食べ物に弱いようです。最初はずいぶん吠えられ、跳びつかれましたが、漸く餌付けに成功し、今は周辺の家の犬も愛犬となっています。

8. 医療

ティンブーでは国立の総合病院とインド駐留軍の病院等があり、学校教育と同様、国民全員無料であり更に、外国人、ツーリストについても無料となっています。最近、歯科部門についても開設され、各部門とも軽微な治療は問題ないようです。然し、手術を要する病気については、個人でバンコクの病院に入院し、緊急を要する場合には最寄りの国外の病院へインド軍のヘリにより搬送することになります。風邪薬、頭痛薬、腹痛薬、解熱・鎮痛剤、抗生物質は入手できます。いずれもインド製の薬で、病院にない薬を薬局で入手する場合は、医師の処方箋をもとに、市内の薬局で購入することになります。

9. 交通事情

公共の交通手段は、タクシーと最近出来た市バスです。タクシーは流しのタクシーを路上でつかまえることが出来、通常の市街での利用(約2Km程度)は30Nu、市内から私の住んでいるモチタン地区(約3Km)へは40Nu、郊外へは50Nuと決まっております。また長距離の場合は、タクシー乗り場を利用し、南部の国境の町プンツオリンまで(所要時間約6時間)は、2000Nu強、乗り合いの小型マイクロバスでは165Nuです。

市営バスについてはルートが4、5本程度、朝夕の通学・通勤時間帯のおおの4時間程度の間1時間に1本の割合で運行されています。今までに2回乗りましたが、運賃5Nuで、降りるときにバスの天井を叩いて、停車してもらいます。

10. 新聞・テレビ

新聞は、国の資金補助を受けている「クエンセル」1社のみで毎週水・土曜日に発行され、市内の雑貨店にて1部8Nuで買えます。また、自宅で年間購

入も可能となりました。

テレビは、BBS1社のみで朝夕、4時間放映されており、内、午後8時から1時間は英語放送、その他の時間は地元ゾンカ語による放送です。ニュース時間以外は日本の盆踊りに似た民族舞踊の放映が多く、男も女もつくづく踊りの好きな民族であると感心します。因みにブータンでは、別途、配信専用のケーブルテレビ局があり、計30又は40チャンネルの24時間放送で、NHK、中国のCCTV、韓国のアリラン放送、BBC、CNN等が流されています。

11. 地方都市

ブータンは20の県があり、各々、主要な場所に日本のお城とお寺を兼ねたようなゾーンがあります。各々、年1回、その地でのお祭りツェチュが盛大に行われ、観光客等で大変混雑します。

南部の国境の町プンツオリンでは、2月11日から1週間滞在し、インド側の町ジャイガオンの市内を3時間程度散策しました。坂の町プンツオリンからインドのジャイガオンに入ると、回りは一面の地平線であり、市内ではいたるところ雑然として、また、物乞いの人が多く、さすがにインドと感心しました。ブータン側のプンツオリンは首都ティンブーより活気があり、街中を歩いていても楽しいのですが、プンツオリンの人口と同程度の人数と思われる人が隣接した難民部落に住んでおり、解決すべき問題が残されています。

プンツオリンからティンブーに戻る途中に水力発電所の町チュカがあり、ブータン・日本交流祭りがありましたので、2泊してきました。その町の人口は約4000人程度と言うことですが、その内、1000人のブータン人が会場に集まり、各地から集合した日本人30数名と共に、日本の文化、習慣を紹介し楽しく祭りを過ごしました。企画・お膳立ては全て地元派遣されている男女各1名の青年海外協力隊員(JOCV)ですが、彼らの、行動力、地元からの信頼感には、大変感動しました。

東部には、風の町ワンジュ・ボタン、尾黒鶴の町ポプジカ、更に東には、ブムタン、モンガル、ダシガン等の素朴で風光明媚な町があります。モンガルには3月5日(土)から地元技術者への技術指導として出張しますが、片道2日掛ますので、3日間の講習で計1週間の日程となります。

12. 娯楽・スポーツ

市内には娯楽施設は少なく、映画館が1軒、ディスコが3軒程度あるようです。外国人は夜の懇親、息抜きとして地元の居酒屋、バーを利用しますが、数軒のレストラン、ホテルならアルコールの飲食が可能です。但し、週末のディスコについては、地元および日本人等の男女若者で夜遅くまでの盛り上がっていると聞いており、一度は、一緒に熱気を感じてみたいと思っています。

スポーツ施設は体育館、グラウンド、プール、テニスコート、ゴルフコース等が若干あります。

ゴルフコースはハーフでIN,OUTの18ホールです。入会金は外国人約50,000円、地元勤めている我々日本人等15,000円、プレイ代数百円と言うことです。日本では数回の経験しかありませんが、夫婦で入会し腕を上げて帰りたいと思います。

主婦の立場からブータン生活3ヵ月の体験を紹介致しましょう。 恵美子

13. 衣

ブータンと聞けばすぐに男性はゴ、女性はキラと言う日本の着物に似た民族衣装を連想するでしょう。私もブータン人は皆、ゴ、キラを着用しているものとはばかり思っていました。政府のオフィス、ゾン(寺院)に入る時は正装つまりゴ、キラの着用が義務づけられて居りますが、他は自由な様です。

街では、ゴ、キラ姿と普通のセーター、ジーパン姿の若者も結構見られます。又、ゴの下にはワイシャツ、ズボンを履いていたり、キラには半キラと言って下だけの物が有り、半キラにセーターやカーデガンという、私から見たら不思議な組み合わせの人も居ります。キラは着物なのか？スカートなのか？の見解によるでしょう。

又、ゴを着て革靴、キラを着て殆どの人が素足にヒールの高い靴やサンダルを履いていますが、又それが妙に調和して見えるから面白いですね。キラには木綿と絹の物があり値段もピンからキリ迄あり、色鮮やかで手織りの複雑な模様のもは美しく優雅で目を見張るばかりですが、値段も何十万円もします。

小学校から高校生の制服もゴとキラで、特に子供のゴ、キラ姿は可愛いです。しかし、ゴ、キラ姿でジヤングルジムで遊んで居るのをみると少しハラハラしてしまいます。男子高校生もゴを着てサッカーに

興じています。

私達の必要とする衣類も選ばなければ調達出来ませんが、紳士用のシャツとズボン下はティンブーチの店を探しましたが有りませんでした。

14. 食

ブータン料理の最も一般的な物は唐辛子(エマ)をチーズ(ダツイ)で煮込んだエマ、ダツイで、普通ブータン人はライス沢山にエマ、ダツイを付けて食べているらしい。兎も角辛いのが特徴です。でも、レストラン、ホテルの食事は結構色々有り、美味しいです。

-水- 勿論生水は飲みません、5分程煮沸してそれをコシ機でこして利用しています。

-米- 色々な種類が有り1キロ62.5円です。一番日本米に近い物を求めています。やはり味は及びません。

-肉- 牛豚肉は、皮骨付きのままキロ単位で買います。それを解体するのが大変で、大体半分は骨と脂です。鶏肉は、解体済みのものと一羽丸ごとの物が有り、こちらに来て1ヶ月は解体済みのものが有る事を知らず、一羽丸ごと買って来て、首、手、足を切り落とし料理するのにかなりの勇気がいりました。しかし、日本では手に入らない牛、豚骨はスープにして美味しく戴いて居ります。但し、牛、豚肉は硬く挽肉にするか圧力鍋で調理しなければなりません。ブータン人は脂身が大好きだそうで、そのまま煮込んだり薄く切って乾燥させたりして食べている様です。乾燥した物は硬く、私の歯にひびが入ってしまった程です。ですから犬に脂身をあげるのには日本人だけの様で、今や私は近所の犬の人気者です。

-野菜- 手に入らない野菜は白菜、もやし、ごぼう、れんこんです。日本と違う物は、さやえんどうをこちらでは豆を食べる目的に作っているようです。いつでも生グリーンピースが手に入ります。その代わりに、日本のさやえんどうの3倍位大きいものが有ります。茄も3種類有り蛇の様に長いのも、私は初めてみました。

玉ねぎは小さく紫の物のみです。野菜は安く、農家の方が気の毒に思い乍らもしっかり値切っています。野菜も全般に硬いので圧力鍋を利用しています。

-果物- りんご、みかん、バナナ、パイナップル、マンゴー、パパイヤ、ぶどう、スイカ、名前の分から

ない物等豊富にあります。

-魚- ブータンには魚はありません、と言ってもインドの川魚で生の物と、干物はありますが、食欲をそそる物ではありませんので買ったことはありません。鱈、鯖、ツナの缶詰がありますのでそれを利用しています。ブータンで川釣りが出来ますが、生殺を嫌う国ゆえ規制が厳しいようです。

15. 住

ブータンの民家の特徴は2〜3階建てで釘を使わず、組み立て方式で外の壁には、極彩色で装飾されています。官庁も同じ構法で周りの景色とマッチしてそれはとても美しいです。

我が家の間取りを紹介しましょう。

(1階) リビング16畳、キッチン16畳、小部屋6畳、シャワー・トイレ室、メイド室、メイドトイレ、(2階) 16、12、10、8の4寝室、客用シャワー・トイレ室、主バスルーム、バルコニー、(3階) 仏間、これは私達には不要なので見たことはありませんが、普通仏像や曼荼羅が飾られて、家族が敬虔な祈りを毎日しているようです。

2人家族には広すぎて使い切れません。隣近所をみても、やはり大きくて広い家ばかりです。ブータンは大家族制なので、1軒の家に何家族も居るようで誰が誰やらさっぱりわかりません。

16. ブータンいろいろ

ブータン人の顔程日本人に似ている人種はいないのではないのでしょうか。現に、青年協力隊の人達がゴ、キラを着用しているとブータン人と間違ってしまう。

ブータン人はシャイで親切、すれ違う時男の子はとて、てれて恥ずかしそう、女の子は挨拶をしてくれる、高齢者の人は“ダショー”西岡氏の事を知っているらしく、とてもにこやかに会釈をされ、こちらの方が恐縮してしまいます。

ブータンには口座引き落とし等と言う制度が無い為、公共料金は各官庁に支払いに行かなければなりません。来て直ぐの時は窓口を見落として、どンドン中まで入って行ってしまっても、ちゃんと窓口まで案内してくれたり、お店を探して行ったり来たりしていると、ゾンカ語しか話せないおばあちゃんでも話かけてくれます。

きっと何処を探しているのか聞いているのだと思います。と、言う訳でブータンに居ても少しも危機

感がない、そう言うブータンが好きです。

先日、プナカ(テンブーより東へ車で3時間)に行つて来ましたが、さくら草が一面に咲き、しゃくなげも咲き出し、桃、梅は満開でした。

やはりブータンの自然は素晴らしい！！

寺院、トレッキング、ドライブの好きな方とても楽しめます。

Please Visit Bhutan !!

終わりに

ブータンにシニアボランティアとして派遣されて、2年任期の内、3ヵ月が経ち、毎日、札幌市が寄贈したゴミ収集車のオルゴールの音を聞きながら、元気に職場に通っています。オルゴールの音は日本で聞きなれたメロディーであり、しばし、外国にいることを忘れさせ、時には励まし、時には慰めの曲となってくれます。ブータン人は礼儀正しく控えめですが、積極性・当事者意識に欠ける面もあり、どう接していくのが良いか、思考錯誤の毎日です。曲がりなりにも当地で技術指導を出来ることについて、今までご指導いただいた方、赴任するに当たり指導用教材を進呈して頂いた関係機関の方々、また、暖かく励まして戴いた当NPO法人の理事長はじめ役員の皆様はこの場をお借りして、お礼申し上げます。今回は、一般的な紹介をさせて戴きましたが、機会がありましたら、テーマを絞って紹介できたらと思います。



「南国暮らしの会」に入会して

会員番号757 笠原 茂三郎

入会して

昨年1月に60歳を迎え仕事も残り1年半位となり、妻とリタイア後の生活について話し合う機会が多くなりました。私自身、足に障害があり寒さに弱いので、第2の人生は暖かい国に移住若しくはロングステイして、のんびり暮らそうという結論になりました。

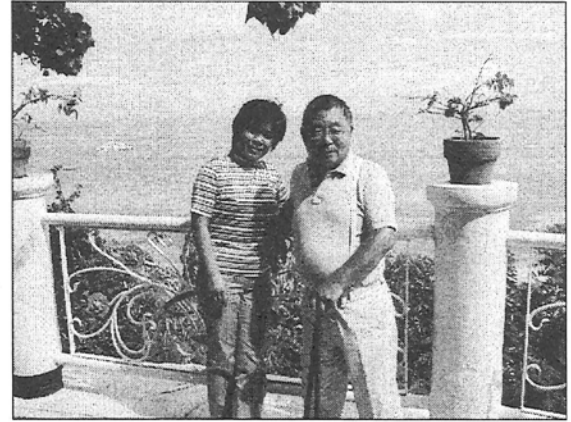
今までの仕事中心の片寄った生活を反省し、リタイア後の生活の仕方を理解するには、実情を掌握することが必要なので、海外暮らしに関する本を買い集め、またテレビで海外移住・ロングステイの番組があれば録画して度々見ているうちに、尚一層興味が湧いてきました。又、もっと身近な海外での生活に関する事も勉強しようとインターネットを検索していたところ「南国暮らしの会」のホームページに出会い、早速入会手続きを取ったのが、2004年4月でした。

翌5月の総会・サロン会・懇親会に夫婦で参加し、今まで読んだ本やテレビでは得られなかった海外での生活経験、その上ロングステイした場合の郵便物、留守宅の管理、安い予算でのロングステイ等大変参考になる話をお聞きすることが出来ました。また同心の方々にお会い出来るので、毎月のサロン会・懇親会を楽しみに待つようになりました。私共は東南アジアの国の旅行経験が無かったので、皆様から南国での暮らし方の話を聞き、実際に下見旅行に行き、移住先若しくはロングステイ先を見つけることにしました。

その準備として妻は昨年7月より、Mr.ANDY (No.700安藤様)先生の「南国の会・楽しい英会話」教室に参加しています。週1回2時間の授業とその後の飲み会が楽しいらしく、授業のある日は午後からそわそわし、毎回終電で帰ってきます。英会話のレベルはアップし、セブとゴールドコーストでも大変役立ちました。

セブ島へ

9月のサロン会・懇親会でセブ島での生活、ダイビングの事をお聞きし、また私共も関心があった場



所なので行く事にしました。会員の方々のアドバイスを受け航空券を予約し、現地のホテルは川上支部長さんにお願ひし、10月29日から10日間セブシティに行って来ました。セブの空港では川上支部長さんにお出迎え頂き、その夜は川上支部長・鶴岡副支部長を始め現地の会員の方々、東京・群馬等の会員の方々と日本食レストランで楽しい機会を設けていただき、又、福岡・北海道の会員の方も来比されて、フィリピン料理、イタリアン料理等の会食を連日楽しみました。時には食事の後カラオケに行き、夜遅くまで熱唱し、最後に全員で「上を向いて歩こう」を歌い散会しました。

セブシティは気温が28℃程で空は青々と澄みきった素晴らしい所で、夜空の星もとてもきれいでした。私達の日課は、午前中はホテルのプールでのんびり日光浴をして過ごし、午後はマッサージ等に、夜は皆さんと会食という日々でした。又、川上さんから「セブにも素晴らしい高原があるんですよ」とドライブに誘われました。その高原からはセブ市内が一望でき、周りは高原レタスやトウモロコシの畑が一面に広がり、農家の人たちが道端にお店を出し、採れた野菜を売っていました。早速採れたて茹でたてのトウモロコシを買って食べたところとても美味しく、値段も5本で40ペソ(約80円)でした。

帰り道、元会員でこちらに移住した方のマンションにお邪魔し、生活ぶり等を拝見し、大変参考に

なりました。また妻は、川上さんの奥様とデパートやショッピングセンター等連日市内を見て歩き、実生活に触れることが出来たと喜んでいました。

もう一つの目的でしたダイビングをするため、鶴岡副支部長に一日ご一緒していただき、マクタン島のプランテーションベイで夫婦とも生まれて初めてのダイビングを体験しました。ダイビングスクールは、日本人ご夫妻の経営で、かわいい犬のジャックも迎えてくれ午前中は、プールでウェットスーツにシュノーケル・酸素ボンベをつけ、呼吸の仕方・バランスの取り方等を練習し、午後はいよいよ海でのダイビング、夫婦とも泳ぎが出来ないので不安でしたが、それぞれにインストラクターが付きリードしていただき、7メートルの深さまで潜り、色とりどりの熱帯魚と一面のサンゴ礁で、また時折前方を魚の大群が通り過ぎて行き、素晴らしい光景で、今までの生活では想像出来ないような経験をした1日でした。鶴岡さんに感謝しながら、夕方プランテーションベイを後にしました。

セブに行ったら是非行きたいと思っていたアレグレ・ビーチ・リゾートに一泊旅行に出掛けました。セブ市内から車で2時間程、壮大な自然に囲まれ、海に面したコテージがありとても静かな所で、午後はビーチを散歩し、特にプールサイドから眼下に広がる美しい海やビーチ、色鮮やかな花々、まさにアレグレはスペイン語で「幸福」という名にふさわしいリゾートでした。夕方は海を望むバルコニーで妻とシャンパンを飲みながら静かな時を過ごしました。朝は小鳥のさえずりで目覚め、自然の中で過ごす心地良さと充分癒された2日間でした。

今回のセブ旅行は、会員の皆様方に様々なアドバイスをいただき、ツアー旅行では経験出来なかった楽しさ、感動を味わう事ができ、南国暮らしに触れる事が出来たので「南国暮らしの会」の素晴らしさ、有難さを実感し、有意義な旅行が出来たことを感謝しております。

カバルアンの丘 慰霊碑の「慰霊祭」に参列して

会員番号584 岸 ケイ子

2月5日(土)朝「IREI-SAI」のアーチをくぐり「南の会」の会旗に迎えられて会場入り、何基もの供花がきれいに飾られた中、参列者の方々が続々と参集、30名余のドラム隊の制服姿で小学生が校長先生達の引率の元に到着すると厳粛の中にも華やかな会場になりました。

前日、小学校の慰問に続き会場を下見させていただいた時に感じた斎木一ご夫妻のこの「慰霊祭」にかかる並々ならぬ物心共に寄せる「献身的な愛」はさらにグレードアップして、その姿を現していました。きれいに整備された会場は 斎木夫人のお父さん、弟さんを始め大勢の地元の人達のお力添えがあったそうです。

斎木夫人の開会の辞、フィリピン国歌、君が代で始まり、司教さんのお祈り、聖歌隊の賛美歌それに続いて町長さん始め、来賓の方々の挨拶など、形どおり進行。私達東海支部の会員も「鹿児島第71連隊大盛支隊」生存者永吉実治氏のメッセージ代読、(571)西口敏弘氏「南国暮らしの会」理事

長酒匂景輝氏のメッセージ代読、(563)松井巳和子氏、それに記録としてビデオ係会友山田勝也氏と(563)松井忠市氏、デジカメ係(584)岸祥介等それぞれお手伝いささせて頂きました。この式の様子のビデオは慰霊祭に多大なご尽力とご協力のあった朝永氏にも送られたそうです。

セレモニーでは小学生のドラム隊が国歌演奏の時よりバトン隊も加わり、華やかに又、一生懸命演奏してくれました。お陰で暗く湿っぽくなりがちな式典を盛り上げてくれた事は言うまでもありません。又、会友でバギオ日本人会副会長山田勝也氏の心のこもったハーモニカと和太鼓の演奏、特にハーモニカによる「ふるさと」等童謡の時はカバルアンの丘の周りの木々に木霊して胸が熱くなるのを覚えました。

我々夫人部隊は心を込めて「般若心経」を読経させて頂き亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしました。

バギオの日本人会、日系人の人々、地元のフィリ

ピンの人達など200名余りの見守る中しめやかに進行していきました。

式典は、最後にこの慰霊碑を守ってお世話して頂いている方、土地を無償で提供して頂いている方へ記念品(日本人形)が贈呈され、少しばかりのハプニングがあった事など後ほど伺いましたが当時は何の違和感も無く完璧に終了しました。

このような機会を与えて頂きましたことを感謝しつつ、今在る自分達の生活の礎が、この様な多くの戦争犠牲者の上にもたらされている事を実感いたしました。素晴らしい慰霊祭だった事を報告させていただくと共に、これからも彼の地で慰霊を続けて頂ける齋木ご夫妻に感謝申し上げます。

合掌

ハンデキャップを背負っても

会員番号822 寺村 稔

これほどに海外旅行を楽しむことができたことを皆様にご紹介ください。と、会報担当の渡辺亜雄様よりメールが届きましたのが平成17年2月14日22:37(2005年)のことでした。

役員になっている方は夜遅くまで大変だなーと印象に残っています。

ハローワークに行っても何の情報も得られず、会社をリタイアして一年が過ぎました。

これからの生きる方向をつかもうとしているのだが、なかなか道しるべがでてこない。そうこうしているうちにインターネットで「南国暮らしの会」に出会いました。

そしてペナン支部長の木村様からペナンの生活費について細かく情報を頂いたことです。誌面をお借りして感謝致します。有難うございました。

障害者の海外一人旅は出来るものか?と平成16年10月(2004/10)に産声をあげました。

*フィリピン・セブへの旅の計画～実行～

なぜフィリピン・セブに決めたのか?この問題で一番頭を痛めたのが“障害者”ということでした。しかも一人旅!! 私は介護保険要介護3を持つ、半身不随・右片麻痺の一級障害者です。

航空会社と空港の職員は、障害者に対して手厚いサポートをしてくれるので、車椅子対応をするようになっている。と、旅行関係の方に情報を頂きました。もう安心です。受け皿が決まっていればどこへでも行ける。いろいろ考えたあげく、日本から一番近く、直行便で行くことが出来るフィリピン・セブに決めました。

*実行は2004/11/30↓

*フィリピン・セブ体験記

[11/30]

AM10:00 福島県いわき市のいわき中央1C(トヨタ車ガイヤ)

PM 2:00 成田ビューホテル着 前泊→15日間無料駐車。飛行機が何機も飛び立つのはなんと爽快!! ホテルから見る夜景は素晴らしい!!

[12/01]

AM10:00 トラベル講座の復習(飛行機の乗り方)。空港内の総合案内所へ行って、これからの手続きの事を聞く。車椅子をだしてくれて、Gカウンター航空券とHカウンター搭乗券をもらう。荷物の審査。

PM1:30 昼食後、航空会社の係員に車椅子を押してもらって飛行機に搭乗する。

PM6:30 セブ空港到着 出国手続きを終えて出口をでると、セブ副支部長の鶴岡様と、会員の山口様が声をかけてくれました。ウオーターFホテルにチェックインしてから、和食店で、セブ支部長川上様の紹介があり、滞在中のヘルパーを探してくれました。

◎ウオーターFホテル★★★★★ホテル

P2,200→川上支部長様の友達価格で良かった。

*体験したところ:12/01～12/04

【食事関係】イタリア料理、朝鮮料理、和食料理、うどん、ラーメン、フィリピン料理

【デパート】ガイサノでおみやげ、みずほ銀行のキャッシングカードで5,000ペソを下ろす

【行った所】カラオケ、日本人会、エメラルドダイビングセンター、コンドミニウム、マッサージー他

[12/05]

AM6:00 ホテルを出る。鶴岡様、山口様に送られてセブ空港へ、案内の女の人に車椅子対応をお願いする。機内で朝食をとり、映画を鑑賞していたら、成田空港到着のアナウンスが聞こえてきた。無事、到着。入国手続きをして、タクシーで成田ビューホテルに向かう。

PM2:30 ホテルの宿泊をキャンセルして車でPM5:30 帰宅する。滞在中、一緒に食事参加をして頂きました会員の皆様、会友様、ほんとうに有難うございました。英会話を勉強してまたお会いすることを楽しみに!!

*満足感

フィリピン・セブ滞在中に会員様のコンドミニアムの前で記念写真を撮ったこと。

山口様、鶴岡様に、いろいろなところに案内して貰いました。誌上をお借りして感謝申し上げます。有難うございました。

*反省としては

自分だけ楽しむのではなくて、自分を取り巻く人も楽しんでいられるような雰囲気作りが必要だと考え、今後の旅への教訓としたいと思います。

ハンデキャップを持つ旅を楽しむ方へ

- ①なるべくなら単身でなくて協力者(旅のパートナー)を同行
- ②海外のボランティアを探すことは難しい
- ③受け皿になってくれる方を探すことは非常に困難
- ④特に一人でシャワーを浴びることが困難な方
- ⑤食事介助、トイレ介助が必要な方
- ⑥予算は大目に用意
- ⑦綿密なプランを立てる

*今後に向けての決意・計画は

◎体調を整えてフィリピン・セブ他、南国の一人旅をエンジョイする

南の会セブ在住の川上支部長様、鶴岡副支部長様、山口様、会員様、会友様に支えられて、フィリピン・セブの障害者一人旅は今後も続けたいと思います。

最後になりましたが【一人では何も出来ない】、人

と人との協調の勉強をさせて頂きました。

特に「南国暮らしの会」の役員様、会員様、会友様、一人ひとりに感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

[南国メールより]

障害者ミニステイについて(2005/1/7)

南国暮らしの会・会員様へNO. 822の寺村です。セブ川上支部長様、鶴岡副支部長様、山口様並びにセブ島在住の会員様及び会友の皆様、昨年は大変お世話になり有難う御座いました。今年も宜しくお願い申し上げます。

ダバオ平野支部長様、会員の皆様、セブに滞在中ご連絡したいと思っておりますので宜しくお願い致します。

新年早々恐縮ですが、1/18~2/16の約一ヶ月間セブに滞在する予定です。前回のセブ下見旅行を基に、どれだけ幅広く体験出来るか、頑張りたいと思っております。ご指導・ご協力をお願い申し上げます。

(追伸)

今野ご夫妻様と行き帰り同行することになりました。

障害者ミニステイについて(2005/1/23)

南国暮らしの会・会員様

フィリピン・セブ会員様へNO. 822の寺村と申します。いつもお世話になっております。

障害者ミニステイについては、同行させて頂きました今野ご夫妻様、セブ島在住の会員様と良くご相談をさせて頂きました事を感謝申し上げます。

大変お世話になり有難う御座いました。

今回は、一ヶ月間の予定でミニステイの計画を組んでおりましたが、セブ会員の皆様と、段取りが決まりまして、これからという時に、私の力不足に終わりました事を残念ながら、申し訳なく思っております。セブ川上支部長様を先頭に鶴岡副支部長様と山口様のコンビネーションが加わりこれからフィリピン・セブ会員様とのタッグマッチになると思っていた矢先です。今後は、もっともっと自分の力を身に付けて、再度挑戦したいと思っております。

宜しくお願い致します。

(追伸)

ダバオ平野支部長様、今回は訪問できません、失礼致します。 それでは(^-^)/^^

わさびの利いた一口英語 <その1>

会員番号700 安藤 公二郎

海外旅行に行きますと、とっさに言葉が出なかった為に、余分な気を使ったり、少し損をしたり、美味しい料理を食べ損なったりと、どなたも経験されていることと思います。

「わさびの利いた一口英語」は、海外生活をより一層快適に過ごしたいとお考えの会員の皆様に送る、一場面一口英語集です。美味しいところだけ食べて、ご活用下さい。

尚、作成にあたり、「南の会・楽しい英会話」巣鴨教室の皆様のご協力を頂きました。

《 ホテルでの一口英語 》

①一週間(一ヶ月間)滞在すると、デイスカウントしてもらえますか。

Is there a discount for staying for a week (month)?

②値引きしてもらえますか。(どんな場面でも使えます)

Could you give me a discount?

③部屋に鍵を忘れてしまいました。

I left the room key in the room.

④設備や電気製品が故障したら次の3種類のどれでも通じます。

・エアコンが作動しません。

The air-conditioner does not work.

・テレビの調子がおかしい。

Something is wrong with the TV set.

・扇風機が故障しています。

The (electric) fan is out of order.

⑤(勘定を払う時)

請求書に計算違いがあります。

There is a mistake in the bill.

ミニバーは使っていません。

I had nothing from the mini bar.

長距離電話はしていません。

I didn't make any long distance calls.

《 レストランでの一口英語 》

初めて行くレストランで、美味しそうな料理を選ぶ

のは結構大変ですよ。そこで、誰もが本能的に行うことは、お隣さんの料理をチラッと覗き見て、注文する方法です。

①あれと同じ料理を下さい。

I'd like (to have) the same dish as that.

別のテーブルではもっと美味しそうな料理を食べていました。そこで、

②注文を変更してもいいですか。

May I change my order?

後から注文した人の料理が先に出てきたら、ちょっと悔しい思いをすることもありますね。自分の注文は忘れられたのかな〜。そんな時には、

③注文したものが未だ来ていません。

My order has not come yet.

食べ残しを持ち帰りたいたい時には、

④これを持ち帰ってもいいですか。

Can I take this home?

⑤持ち帰り用の袋をもらえますか。

May I have a doggie bag?

マクドナルドなどのファースト・フード店では、

⑥持ち帰ります。

(Make it) to go, please.

/// tips /// レストランによっては酒類の持ち込みもOKですね。

このようなレストランをb.y.o.(b.) restaurantと言います。

b.y.o.(b.)=Bring your own bottle(自分のボトルを持ち込む)の意味です。

皆さん、Enjoy your stay! この欄のご意見、ご要望をお待ちしています。R.S.V.P.

《お知らせ》

ご覧いただきましたように、今春季号より会員番号700番安藤さん(通称Andy)に「わさびの利いた一口英会話」をシリーズで連載いただけることになりました。

次号もお楽しみに!

編集委員

ゴールドコースト(GC-オーストラリア)から

会員番号586 磯崎 興志

わたしは昨年6月(リタイアメントビザ取得)から断続的にロングステイを開始しました。

主としてゴルフプレイに明け暮れていますが、現地一般情報を偏見と独断的見解を持って報告します。

一般情報

気候は年間300日が晴れで、特に朝夕のそよ風、海水に漬かりながらの海岸散歩は抜群です。ゴルフ場へのアクセスは20分以内で、通行料金は要りません。

治安は良いほうだと思いますが、対人口当たり警官が少なくドロボーが多い印象を受けます。街角をブラブラ散歩している人はあまり見かけません。人生を楽しもうといったゆったり社会(逆説的には働かない、責任取らない、期日を守らない)です。

住まいは、ゲートあり、鍵ありで、また契約・弁護士社会ですから管理費が高くなるのは当然でしょう。日本人滞在者はワーキングホリデー(通称ワーホリ)、学生(主として英会話)の若者、引退者が主体で、30~40歳代は少ないようです。在留(3カ月以上滞行者)の届け出は約5,900人(GCのみ)です。最近、韓国人・中国人が急増しています。内容は良くわかりませんが、ワーホリの女性の評判が悪いので、子供をワーホリや英会話学校に出す場合十分な管理が必要です。

オージーと結婚した子持ちの女性の多くが、数年後保障金を支払って離婚すると聞きますが、日本と逆ですね。

初期ロングステイ費用は500~700万円(車購入費含む)は懸かるでしょう。生活費(夫婦2名)は1か月15~25万円程度です。海岸散歩、テニス、水泳主体の趣味の方は安上がりでいいでしょう。4人家族で食費が6万円程度との調査報告もあります。ロングステイ者は8~10年滞在后、大体70歳後半80歳代には帰国するケースが多いようです。

車について

新車は大衆車で2万~3.5万ドルですが、中古車は結構高いです。50万km以上走行した車でも大事に使用されています。日系ではトヨタ、ホンダ、レガシー(富士重工)に人気ありますが、三菱、日産は今ひとつのようです。なお、こちらには世界各国の車が揃っています。

老人証について

「老人証」は60歳以上の長期滞在者に発行されます。交通機関、買い物、車の税金、催し物などで値引きの恩恵が与えられます。

経済

現在、銀行金利は3か月物以上が5.5~5.7%で、海外移住者には金利に対し10%の税金がかかりますので、実質4%程度の手取りとなります。25万ドル以上は個別交渉できますが、インフレが進み2~3%です。為替は過去20年間1ドル56~120円で推移していますが、現時点では83~85円(購入為替)です。

不動産

バブル初期様、売り物件が多く、購入者が減りオプションが多くなっています。そういう現状から、現在は購入時期ではないと思われます。それより賃貸が賢明でしょう。サーファーズ中心部のアパートで(2ベッド以上)の年間家賃は15,000ドル程度で、大体35~40万ドルの預金金利でまかなえる計算になります。不動産所有者は庭の管理、電化製品の故障、近隣者と付き合いなどで悩むことが多い割に、売却が困難(特に高額物件)です。管理費の高いアパート(リゾート系-ロイヤルパインなど)は避けほうがよいでしょう。なお、日本語ホームページアパルト紹介(アコモネットなど)の物件は高いものが多いようです。

ビザ関連

不動産購入は、長期滞在するか頻回出入国する場合に限り、短期滞在であれば観光ビザで十分。観光ビザでは新規物件しか購入できません。購入の場合、手数料は売り手のみが支払うことになっています。55歳以上になりますと永住ビザは発給されません。発給されるがごとく(家族がオージーの場合など例外はありますが)言い、日本人に対し高額手数料請求する弁護士や業者がいるので注意が必要です。リタイヤビザで2,000~3,000ドル請求する業者もいます。

ゴルフ場会員権

年会費は500~8,000ドルですが、一般経費については昨年の会報で報告済みですので、ご関心の向きは2004年秋季号をご参照ください。私の場合、

コロニアル、ロビーナウッド共通で年間会員2,700ドル(2名分)です。プレイ費は無料で、14ドルのカート代だけで済みます。平均1回30ドル以下で済ませたいところです。ここは、たいてい予約を取らなくてもプレイできます。パームメド、ロイヤルパイン、ホープアイランド、サンクチュアリーコープリゾートなどはプレイ費の高騰(会員同伴で65-80ドル)が激しいです。

こちらのゴルフ場は池がらみのコースが多く、ボールの消費が多いのが悩みの種です。ニューボール2.5ドル程度、程度の良いロストボールで1個1ドル程度です。池に潜水服で潜る専門のロストボール収集業者もいます。

以上

住んでみたいオーストラリア

会員番号134 松岡 且視

「海外で暮らしてみたい」と言う人は年々増えているが、その中でもオーストラリアは世代を越えて人気の有るところだと思います。

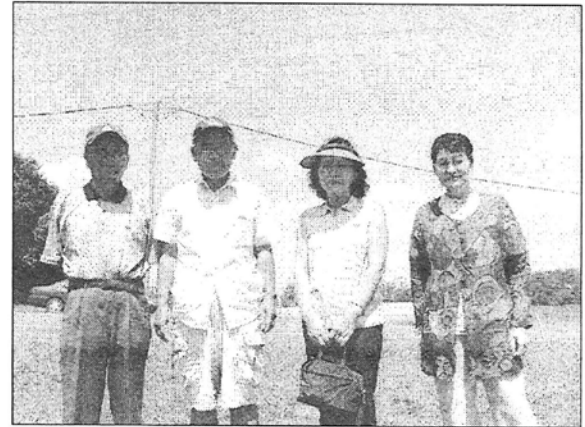
広大な国土に広がる豊かな自然、美しいビーチ、おおらかなオーシィ気質、オーストラリアに憧れるひとは後を絶ちません。特に最近では熟年層の長期滞在先として、老後に住んで見たい人気の国として注目、わたしもその1人として。

オーストラリアの中でも特に人気の高いゴールドコーストは湿度が低く、年間を通して快適な気候に恵まれていて、老後をのんびり、ゴルフ三昧の生活を夢見る人、特にゴールドコーストは名の通り42キロにわたる海岸はハワイの比では無いと思います。

先ず今回の費用を見えます。
(是から申し上げるのは独断で偏見が有るかも知れません)

1. 航空運賃

航空運賃はシーズンにより異なり、ハイシーズン、ローシーズン、オフシーズンが有り変動します。
オーストラリアを方々回る方はフーマランパス周遊券を利



用する事で安く出来ます。
東海岸と西海岸で2ゾーン、ニュージ-ランドと、フィジ-エリア合わせて4ゾーン有ります。
今回利用したのはHISのゴールドコースト行きフリープラン5日間、1人¥69,800
これで往復の航空運賃と5日間の宿泊ホテル費用プラス(延泊可能手続き)¥3,000、
28日間まで延泊可能になります。勿論延泊費用は自分持ち

2. ホテル費用

5日間HIS費用内¥69,800×2ソブリンホテル

7日間予約。娘の会社の保養所

¥20,000 ベルメゾン

6日間は現地で手配したコンドミニアム

¥45,000 ウォーターウエイ

3. 交通費、通信費

市内バス 2.20ドル

レンタカー10日間¥47,000+ガソリン+その他

携帯電話レンタ代 ¥4,000+使用量

車、電話、ホテルもクレジットカードを持って居ないと利用不可能な事も有ります。

4. 住まい

3年前の事を思うと大変値上りしています。為替

レート83円から84円、前は69~71円

コンドミニアム及びアパートメント1週間約700ドル、

¥58,000より

アナホテル 1泊 175ドル ¥14,700

プリンホテル 1泊 175ドル ¥14,700

5. モーター

市街の中心を外れた位置に多く点在しています。

1ベット、キッチン、シャワー、冷蔵庫つき1泊¥5,000~6,000

ANAホテルの道を隔てた所にあるモーターなど

4,400より¥6,000で

茲は便利なので車は必要がないかも、モーターの部屋の中は確認していません。

6. コンドミニアム

及びアパートメント(ホテル・アパート)は、日本のマンションに近いと思って頂ければ良いと思います。

GCには海岸沿いに多くの高層階の建物が見られます、その殆どがコンドと呼ばれるリゾート物件で、ここGCではホテルより先にコンドミニアムが発展して出来た町だと言うことです。ホテルとコンドミニアムの最大の違いは好きな食材を買ってきて気軽に料理が出来る事です。

このコンドが非常に便利に出来ていて、ホテルに勝るとも劣らず、プールは勿論、トレーニングジム、ガーデン、バーベキュー、その他設備があり、部屋の大きさは2ベット又は3ベット ルームにリビングルーム キッチン、ランドリー、

家具、調理、食器などが揃っていますので、何時でも生活が出来る状態なのです。

これらのコンドを中心に、ウォータフロントやゴルフ場に隣接した一戸建てタイプの(リゾートハウス)やビラと呼ばれる低層の集合住宅まで物件は様々で、どれも日本の間取りに比べ広広としています。

目的と予算によって選択肢は豊富にあります。

何よりバルコニーからのオーシャンビューで、海を見ながら爽やかな風に総ての心身を癒してくれます。

ハイシーズンでない限り、"vacancy"の看板があれば空いている証拠です。めぼしい建物を値段と空き部屋を見せて貰い、気に召したコンドがあれば申し込めばOKで、短期か長期かにより料金が変わります、1週間単位の計算です。

7. 両替

日本円やトラベラースチックは、銀行や街の両替所で両替できるが、場所によってレートが異なり、サーファーズパラダイスのANAホテルの裏、エルクホン通りに有るキングスカレンシーは現金、チェックとも手数料無しです

8. 医療

日本語医療センターは、海岸通りのマクナルドの2Fにあります。旅行中のケガや病気など、緊急の場合でも安心です。

1800-686-099 フリーダイヤル (GC)

クレジットカードに海外旅行障害保険が添付された物であれば無料です。今回もちよつと、かゆ身が出ましたので罹りました。

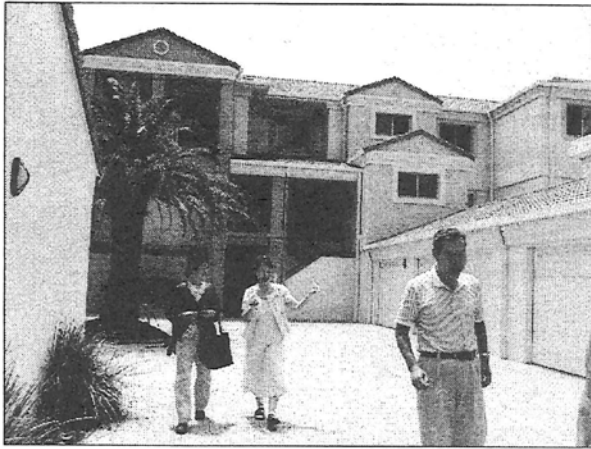
2-1 ソブリンホテル

GCの中心がANAホテルとすれば、歩いて6分くらい北に位置し、便利では無いが、サーファーズパラダイスの内です。

13日目からの宿泊が決まっていないので、宿泊の値段を尋ねたら175ドルなので他を探すことにしました。

2-2 ベルメゾン

サーファーズパラダイスの中心から南に2キロのブロードビーチにあり、サーファーズの喧騒に比べ落ち着いた雰囲気広い敷地で一層際立っています東側は、黄金の砂浜海岸から水平線ノ彼方まで、北はサーファーズパラダイスのビル郡が一望に西はヒッターランド(内陸部)が余すことなく。南はコンラットジュピターズご存知の(24時



間カジノ営業)が眼下に、ネラング川の両側にはウォーターフロントに面した住まいが価値あるものになっています。この建物に日本人が4人ほどお住まいのようです、GCでは数少ない環境に恵まれた建物だと思います。

2-3 ウォーターウェー

前にコルススーパー、左にインテリアプラザ、右にコンコルドホテル、エルクホン通り南は川面をさざ波がキラキラと輝きながらゆっくりと流れる中、釣り糸を垂れている人影がありました。

<長期滞在住>

*磯崎さんに案内して頂いたホープアイランドの池田さん宅の例。

ホープアイランドは広大な敷地にひとつの独立した町を形成している総合リゾート。

敷地内にはゴルフコースを始めピラヤプール、マリナが点在し充実したリゾートライフが楽しめます。サーフアースパラダイスから車で北へ25分位。池田さんが暮らすのはセキュリティ付きの豪華なタウンハウス、落ち着いたベージュ色の壁に赤茶色の屋根が燦々と輝く太陽の眩しい庭に大きなソテツが一本、両サイドに駐車場が有り、建物の2階と3階が住まいで、玄関から入ると、ぎゅう白色一面の明るい部屋3ベット2バスルーム、リビングが有り、広い窓からは緑の芝生にゴルフ場造成されたとおもはれる河が有り静かな唯住まいでした。

年契、約420/週ドル

磯崎さん共々池田さん宅を午前中に失礼してヒッ

ターランドへ。 www.hir.com.au

* GCの内陸部 (ヒッターランド)

マウントタンボリンはサーフアースから北西へ約45分の所に位置し、緑豊かな森林が広がる海拔550メートルのリゾートです

その中心地の(ギャラリーウオーク)は静かな高原リゾートとの中心ストリートです。

道の両側に陶芸品、木工品、アートギャラリー、ギフトショップ、カフェが並んでいます。

辺り一面花の香りが漂う中、中野さんとお会いする事が出来ました。

娘サン夫妻が茲で不動産業を営んでの関係で渡豪されたようです。私と同年輩で、今まだ方々でお活躍して地域に貢献されて居られます。ちょっと店を覗いたら、6エーカー約1億円で土地のみ、恐らく農場でしょう。カフェで飲み物を取り一時を過ごした。後3、4箇所案内して頂きお別れしました。

* 情報収集

国営SBSテレビ放送は、平日の早朝5時30分より日本語のNHKニュースを放送しているので、ほぼリアルタイムで日本のニュースを見ることが出来る。

* 緊急事態

日本の110番と119番に当たるのが000番、警察署、消防署、救急車が同じ番号になっている、救急車は日本と異なり有料と聞いています。

* 生活物価

電化製品: 日本と余り変わらず

食品: 米2Kg, 弗2.69/牛乳2リットル, 弗2.72

/牛肉100g, 弗1.70/鶏肉100g, 弗1.30/

じゃが芋1K, 弗1.30/バナナ1K, 弗3.70/

オレンジ1K, 弗3.90/リンゴ1K, 弗4.90/

ビール375ml×24, 弗27.99

* ロイヤルパインズリゾートについて

NAZ、レディーズ、マスターズ、チャンピオン、シップコースを始めホテル、マリナなど多彩な施設が整備されています。

両コースともGPS付き電動カートが有り、付帯するファイ

ブスター級ホテルの中には日本料理店もありました。

3年前に当時35万ドル約2500万円で環境が良かったので気に入っていました。

今回もう一度とと思っていましたが、今は土地分譲しかしてないとの事で見送り、参考のために前の資料を見ました。今から思うと安いようです。

日本人向けに木目も取り入れ落ち着いた内装でした。

間取り：2ベッドルーム
住宅専用面積：126.0㎡
価格：¥25,550,000
バルコニー面積：32.7㎡
登記諸費用：¥966,000
コート面積：32.5㎡
合計：¥26,516,000
合計面積：191.2㎡

年間費用共益管理費：¥ 280,000/年
市税 {上下水道含む}：¥ 91,000/年
建物保険 ¥ 19,600/年
合計 ¥ 390,600/年
総合計 ¥26,906,000/年

パインズホームページ：

www.mid.co.jp/rpr/index.html {松下興産}

今回の目的はLSの為に価格の下見ですが、昨年11月に1ヶ月チェンマイに行って残りチェンマイとの価格差があるので、タイにGCと同じ様な、あの爽やかな気候がタイの何処かにないものか探索してみました。

<ドライブ (車パルサ) >

車を利用して一号線を南下するとバーレイヘッドからカンピーン自然動物園を右に見ながら海岸に向かうとツイードヘッド岬、ここはキャプテンック記念塔があり、そのランプハウスの中心線がクイズランドと、ニューサウスウェールズの境界線になっています。

風景やサーファを見ながら昼食後も南下し、住宅地区は60キロで、郊外になるに従い80キロ、無人の原野は110キロ、どの車もスピードにうるさい所が正確でした途中カメラによる監視もありました。

パイロンバイを目的に走っていましたが、何所でどう間違えたのか、山間部に挟まれた辺鄙な公園と河に囲まれた町につき、お茶を飲んだり不動産屋を覗いたりしている内に、疲れを感じ帰る事にしました。

帰り際にパシフィックフェアの手前で日本食品専門店があるのに気づき立ち寄る漬物、納豆、佃煮、醤油、ラーメン類、有り酒類は有りません、だいたい日本の3倍近い値段でしたが納豆と味噌ラーメンを買い、食べてからよく見ると昨年9月の賞味期限でした、安いのは、ローヤルセリ-365粒78ドル、プロポリスも3割ほど安いので買い求める人もいました。

南西に広がる山手の中腹のロビーナ-へ、彼方此方迷いながらロビーナ-タウンセンターの道路脇に駐車しました。近くに停まっていた車から男性が日本人か聞くから、駐車に文句でも言われるかと思ったら、福岡に行くが何所から来ましたか、東京からです、福岡に来週の日曜日にとし子がいる所へ速く行きたいと地図で指しながら、待ち遠しいらしく福岡を何回も口にしていました。ジャパンは寒いから気を着けて行って来て下さいとハイハイで別れる。

ここロビーナ-タウンセンターはかなり大きな規模で内陸部の為か人々はこのんびり家族や親子ずれが目立つ。後でお逢いする小川夫妻は、奥さんは日本語、ご主人は数学の先生で13年前に千坪程の所に住んでいたが屋敷の手入れが大変なので3年前にロビーナ-に引き越して今は気楽生活ですと聞きました。

<ブリスベンへ>

北へ一時間あまり、ブリスベンの中心街に滑り込んだ車の流れに押し出される感じであつという間に方々に散って仕舞った。漸くローヤルホテルと植物園の道路脇に一台の隙間を見つけ止める事が出来ました。ブリスベンの中心地はGCと異なり、周りがオフィスの所為か歩行者天国に係わらず町全体が早いリズムで回転してぶらぶらと言う感じでは有りません。インフォメーションでマップと博物館の位置を聞いて町をぶらつきながら食事を食取る事になり、大きなフードショップ此れはGCでもチェンマイ同様間口2間位のショップがぐるりと回りにあり、日本食の海苔巻もありました。食事をして帰って見たら駐車した時は、一杯だったのに2.3台しか駐車していないので何となく変だなと胸騒ぎがしたので、よくよく見るとワイパーに何か紙切れが挟んであり、50ドルのペナルティ伝表でした。家内が植物園の入り口でうろろしているのを呼び寄せ、こんなのが有ると、周りを見ると50M先にペイボックスと書いた郵便ボックスのようなものがありました。反対側はちゃんとパーキングメーターが有るので初めての人は誰でも気が付かず駐車すると思う。

暫く博物館を探したが見当たらず、その他見学の予定も気分が乗らずキャンセルして引き返すことに。交通規が厳く信号が日本と異なり赤と青の矢印の表示に一方通行ばかりで帰りの入り口がわからず苦勞しました。

*オーストラリアの交通標識は赤の→で禁止を表しています。

ラウンドアバウト、ロウター-の交差点の事、時計回りに右から先にローター-中を回っている車が優先。ローター-に入る所から見て左に出るときには左に、直進なら内側、右折なら右に方向指示器を出す。ローター-から出る時には、いずれも左に方向指示器を出す。空いている時は平気でも、混むと中々難しい。これが続けて3つもあると目が回る感じで、直前に表示は有るものの土地不案内の我々には何処をどう走っているか皆目分からずおおよその方向の運転です。

*毎週月曜日の夜はSAR クラブで日本人、会合の夕食会が有るので磯崎夫妻にこの会合に出てはと誘われ出席。河村さん、藤本夫妻、加藤夫妻、池田夫妻、藪田夫妻、小川夫妻、小屋様、皆さん趣味とゴルフ三昧で楽しそう。食事が通常の半額なので一層魅力でした。

2度目の日本人会の夕食会に、早速皆さんにペナルティの50ドルについてお尋ねした所、河村さん曰く、ブリスベンに車で行けば市に罰金を納めに行くようなものだから、車でなく電車で行くべしと忠告を受けた次第です。50ドルはポスト オフィスから払う。

*1回目の来豪

コアラ見物にオージー-と1泊2日のドライブの予定で朝早く出発途中オージー-の家に立ち寄り、親と同居の家族の紹介と近くに住む娘サンの孫の可愛らしさに、コーヒーを飲みながら、いつ時を過ごしました。

シドニー-の郊外、ホンスビー-から500キロ北ポートマックアリの途中でイルカのウォッチングを楽しみ、到着した海岸の森林で野生のコアラを発見、いるんです何匹か、森の中の民宿で1泊し、帰りは所々めばしい町に立ち寄りながら、真白な砂山が1キロ~2キロ連なり、牧場が延々とつづく中、シドニー-に近づくあたりからこの辺りに家を買ってオジー-になれと何度も言われながら夕方帰りついた。ドライバー-代400ドルと1泊2食付で200ドル位でした。走行約1000キロ余りでした。

*2回目GCからシドニー-経由でパースへ、

パースでは会員の神所さんとフリーマントルで10日間偶然一緒になり部屋は違っても二人で韓国の車ヒュンダイをレンタルして助手席でナビゲ-トしながらワイナリー-や釣り、観光のドライブ-で、生活を共にしました。朝早く6時からゴルフ800円パブリックコース。

パースからケアンズへは、4時間の飛行。ケアンズではパ-ム コーブ-で7日間ほど、ここは車が無いとどう仕様もない所。アサトン、マリ-パ-、ポ-トダグラス内陸部から海岸線をドライブ-すると、熱帯雨林と海に挟まれた陸の孤島がポ-トダグラス、美しいリゾ-トタウン 隣接するマリ-ナ ミラ-ジュはブテックや レストラン カフェが軒を並べている。ケアンズから北へ75キロ、海岸から熱帯雨林を越え内陸部を過ぎると森林は所々あるが農場ばかりが延々と連なる。走行約600キロ、車ダイハツ。

*歩くゴールドコースト海岸

以前は砂浜を歩く人が年代に関わらず多かったが、今回は数少なく津波の関係でしょうか。緑の溪谷が連なるブル-マウンテンズ 荒野の墓標と呼ばれるピナクルス 世界遺産に登録されている熱帯雨林のキュランダ、皆自然の美しさでした。

この度は磯崎夫妻に大変お世話になり、又日本人会の皆さんとも面識が出来、心強く又出かける事が楽しみです。

思えば東海岸は、南はウ-ロンゴンから、北はポ-トダグラスまでドライブ-を楽しみましたが、何時か北のターウイン 南のタスマニア アテ-レ-トを車で回るチャンスが有ればと思います。

近いうちに挑戦出来れば、行って見たいのが書き終えたときの夢！

語学留学とパースへの下見旅行

会員番号732 馬場 章介

学校を卒業して30数年間、サラリーマン生活も今年卒業することができました。多くのサラリーマンの方がそうかなと思いますが「定年退職したら何をしようかな」といろいろ考えたなかで「サラリーマン時代にやりたくてもできなかったことをまずやってみよう」という単純な動機で「海外での生活」を志向しました。

「海外での生活」といっても観光、仕事、ボランティア活動、年金生活、等いろいろなライフスタイルが考えられますが、私は下町で生まれ、育ったこともあり地域社会とのかかわりを多く体験してきましたので、海外で生活する上でもできるだけ地域社会に溶け込み、多くの人との出会いを楽しみ、余裕ができればボランティア活動にも参加してみたいと思っています。しかし、今までの会社での経歴からほとんど国内営業部門で仕事しておりましたので外国語との付き合いがなく言葉の障害がありました。そこで海外で生活するためにはまず言葉を少し勉強しようと決心し定年前の1年余り英会話学校に通ったのですが覚えると同時に忘れてしまう状態です。これではいつまでたっても海外で生活することは出来ないかと諦めかけました。しかし、夢をかなえるには体力と気力があるうちに多少の無謀(冒険)も必要だろうと、思い切って海外で生活をしながら英会話を勉強しようと決心したわけです。

そこで、1年間の予定で語学留学をすることに決めました。とりあえず、3月16日出発でカナダのバンクーバーの学校にホームステイで3ヶ月間通学することにし、その先のことは現地で考えて次へ進もうと思っております。カナダは観光ビザで6ヶ月間滞在できますので、その後はオーストラリア、ニュージーランドと英語圏で語学留生活しながら、現地の地域社会で役に立つ何かが出来ればと考えています。バンクーバーを選んだ理由は日本食をはじめアジアフードが手軽に安く食べれること、自然環境と治安が良いこと、国柄(政治、文化、歴史、

人権、等)も気に入り、物価も高くないことが主な理由です。昨年、夏に下見をしてきたのですが期待どおりの所でした。

そして、今年の2月14日から21日まで、カナダの後の留学予定地として考えておりますオーストラリアのパースに家内と、友人と4人で下見旅行をしてきました。現地では南国の会の支部長でいらっしやいます藤本さんにお会いして会報の新年号をお届けし、藤本さんには普通の観光ツアーではいけないところにも案内していただき大変お世話になりました。藤本さんはお元気で、現地の日本人クラブのボランティアをされてお忙しいところ、時間を割いていただきまして大変感謝いたしております。現地で地域社会に入り込んで、生き生きと生活を楽しんでいる様子をうかがうことができました。留学先候補の学校「アспект カレッジ パース」も訪問し見学してきました。期待通りの学校のように感じました。パースという町はそれほど大きな都会ではなく、落ち着いた感じで、美しく、大変気に入りました。古いものを大事にしながら新しいものが同居しており、都会的なにぎわいと公園、水(川)、緑、小鳥がさえずる静寂さがあり、自然環境に恵まれ、人々もフレンドリーで、ゆったりと生活できそうで中高年向きだと感じました。藤本さんがLSしているのも心強く思います。(治安も日本より良さそうで物価も安そうで、バス、電車は一部運賃が無料でありアクセスも便利です)

今、季節は夏でちょっと暑いですが、日本のような蒸し暑さはなく快適でした。到着した15日だけは、年に2,3日しかないという40度を越す猛暑で日向は歩いていられないほどの状態でしたが、滞在期間中のその他の日は30度を超しても汗もかかずエアコンもあまり必要ではないように思えました。朝、ゆっくり散歩していると半そで、短パンでは涼すぎることもありました。パースの夏は殆ど雨が降らず緑や草花が少ないので、夏よりも春(日本の9月～11月)が自然環境は良いのではないかと想像しま

す。結果として、短期間での印象ですが語学留学先としては期待していた以上に良い所だなと思いました。日本で旅行業者にフライトとホテル(ダクストン)だけを手配してもらい、後は我々で勝手に歩き回ったのですが、日本食や、中華、韓国、イタリアンと美味しいレストランも沢山あり、同行した家内と友人たちもパースの観光旅行に大満足しておりました。

最後に、私は南国の会に入会して1年余りになりますが、会員の皆様は親切で楽しい方ばかりで、入会して本当に良かったなと思っております。まだ皆様から教えていただくことばかりで会のために何もお役に立つことができずに行ってしまうことは心苦しく思っておりますが、海外に行っても何かの形でお役に立てるよう心がけます。とりあえず、現地

の様子、LSに関する情報をお伝えしたいと考えております。この1年数ヶ月の間、私の夢の実現にご指導いただいた会長の池田様、理事長の酒匂様はじめ多くの会員の方々のご親切に心より御礼申し上げます。特に同じような語学留学生生活をされました先輩の木内様には具体的なアドバイスを沢山いただきまして大変参考になりました。この場をお借りしまして感謝を申し上げます。今後、毎月のサロン会には家内が引き続いて出席させていただきますのでメーリングも従来どおり、よろしくお願い致します。

以上、南国の会の皆様と、単身で「夢と冒険の旅」を許してくれました家内に感謝しつつバンクーバーへの出発と、パース旅行の報告といたします。

2005年3月5日

第1回アジア日本人男声合唱祭

KL支部 末 英樹

趣味が昂じてプノンペン・大阪・バンコク次はどこで歌うのか・たかだか数曲歌う為お金と時間をかけて、南国からさらに他の国に出かけた海外居住合唱バカのレポートです。ご笑覧ください。

また、本稿は会報用ですのでMLと重複する部分が多々あります事をお断りいたします。

タイ国日本人会・クアラルンプール日本人会・マニラ日本人会の後援のもと、アジアの5つの都市、香港・フィリピンのマニラ・インドネシアのジャカルタ・タイのバンコク(BKK)・マレーシアのクアラルンプール(KL)の男声合唱団(※)が2005年2月12日BKKに終結、「第1回アジア日本人男声合唱祭」が開催されました。私もKLグリーの一員として参加し各国の仲間と共に楽しんだ時の報告で、年齢は20台の若者から71歳の元青年までのあらゆる階層でした。詳しくは下記サイトご覧ください。

<http://www.cyberlite.com/festival/>

※夫々の団の名称は、香港日本人倶楽部合唱団男声合唱団、マニラグリークラブ、ジャカルタ・メルクワイヤー、男声合唱団マーマーヨ、KLグリーク



ラブです。

過去数回の海外公演の実績を持つKLグリークラブは2005年のCNY(※)の海外公演をネパール(ネパール王室と接点を持つ団員がいる)にて実施すべく準備に入ったのですが、ネパールの政情不安定如何ともしがたく、BKKを候補地として思案中にヒョンナ事からBKKマーマーヨの方との出会いがあり合同で演奏会を、との話が出てきたのが昨年夏の頃、その後話はトントン拍子に進み今回の合同合唱祭になりました。

KLとBKKの話の中で近隣諸国を巻き込む話が広まり、わがKLグリーはOBをジャカルタ・マニラ・香港の各地に派遣(単に彼らの任地が換わっただけ)しており、5カ国合同で話しが纏まるのは時間の問題でした。遊ぶ話はすぐ決まる好例ですね。

※マレーシアの祭日、チャイニーズニューイヤー(略してCNY旧正月です)中国系マレーシア人のお正月で、国は2日間のみ休日になっていますが、中国系は堂々と1週間休みます。日系企業の多くは中国系を管理職として雇用しているため2日+αの休日を決めている企業が多いので駐在員が休みを取りやすい。但し旧暦ですので年によって日にちが変わる。

準備

開催地BKKの皆様のご苦勞は並大抵ではなかったと思います。この合唱祭の3週間後にはご自分たちバンコク混声合唱団第3回定期演奏会を控えていた時期ですから、なおさらだったと思います。HPに詳細報告あります。

演奏会場の確保、演奏会開催のPR、前夜祭会場確保と進行、そして演奏会当日の進行・司会、打ち上げ会場確保と進行等々、ホントにご苦勞様でした。聞くところによりますと、やっと確保した公演日、ホットする間もなくその翌日がタイの首相選挙日に決まり、選挙の前日は酒を飲んではいけないタイ国の決まりがあるとの事！BKKの宴会担当は真っ青になったそうです。

合唱祭が選挙の前日だと打ち上げのお酒がダメ！グリーからお酒を取ったら唯のおじさん集団で面白くもなんでもありません。

結果としては選挙が1週間繰り上がり前夜祭はシッカリと盛り上がりました。詳しくはHP。

そのBKKの負担を軽減すべく各国も知恵を絞りました。その一端で我がKLサイドの場合、

①CNYのトップシーズンに約40名の航空券とBKKのホテルの確保、空港からホテル・ホテルから会場までの多人数の移動(BKK市内の交通渋滞はつとに有名)、これにはアジア各地に支店網のある某日系旅行会社にBKK以外の各団が依頼し、まとめてもらった(我々の手間はかからなかった分価格が高かったくらいあり。当たり前ですが)。

②プログラムはKLにて作成、デザイン・印刷・製本共に団員が手分けして製作し、ハンドキャリアに

て当日会場へ。

③記念Tシャツ製作もKLが担当、ニューヨーク在住のデザイナーであるKLグリー田中氏令嬢作成(ボランティアです)のロゴマークをアレンジした全世界で130枚の限定版を作成し、プログラムと同じくBKKへハンドキャリアしました。なお、南の会でこのシャツを持っているのは私が2枚、他に2/13に一献傾けた南の会BKKの村上氏、大瀬戸氏の合計4枚のみであります(念為)。

④学校の先生方の文部科学省の許可。各国に夫々日本人学校があり、その先生方が有力なメンバーなんです。海外の教師が赴任地以外の外国に行くには大変なお役所仕事待ち受けている。学校長・文科省・各大使館・日本人会等のお手を煩わせなければならない。既述のごとく各国日本人会には後援頂きその旨学校長あて書類には添付し、さらに「教師が国際理解を深めその結果を日本に持ち帰り教育に役立てる」等の本音(?)を書類にして校長に提出、特にバンコクは外務省の海外危険(安全)情報「十分注意してください」が発令中！校長先生のご理解もあり各役所(日本国内)を回り許可されたとの事でした。マニラの指揮者も学校の先生、同じ問題を抱えていました。

⑤KLだけではありませんが駐在員の方々はCNYの長期休暇とはいえ、日本は休日でない為それなりに仕事の段取りにご苦勞があったと思います。特にインドネシアでは2週間前の1/29に団員の全員が参加されている混声の第15回B&B定期演奏会が済んだばかり、2/9がCNY、2/10がイスラム暦新年の休日で2/12が週末の為2/11休みが取れず参加をあきらめざるを得なかった方が数名いたとの事でした。

合同演奏曲巡回指導

合唱の指揮者が各国合唱団を回り合同演奏曲の指導に回るケースも一寸例が無いですね。当地KLに亀井さんが居たからこそ可能なことでした。1月末から週末毎に香港、バンコク、ジャカルタ、マニラをボランティアで駆け回った亀井指揮者の情熱も相当な物だったと思います。

南の会NO80阿部功さんの[南国メール08819]に書かれている「イエスタディ」のソロがその亀井さんなのです。詳しくはHPへ。

当日の80名の合同ステージで見事な男声のハーモニーを醸し出したのも、心を一つにさせる術を知

り尽くした指揮者に負うところ大であったと思います。ください。

阿部さん、これを聞かれなかったのは誠に残念でした。80名の重厚なハーモニーを聞く機会はそうそうありませんよ。

2月11日(金)合唱祭の前日です。

クアラルンプール国際空港(KLIA)を10:00発BK K国際空港11:05着(マレーシアとの時差-1時間、日本とは-2時間)迎いのバスでホテルへ、一休みする間も惜しんで午後2時KLグリーの練習開始、午後4時からインペリアル・クイーンズ・パークホテルの3F宴会場[バンコクパノラマ1]での80名の男声が勢ぞろい合同曲の練習が始まりました。いよいよ幕は切って落とされたのです。合同曲の練習の時早くも胸にジンと迫る物があつたのは私だけではなかったようで、多くのメンバーがHPでこの旨書き残してあります。

6時から前夜祭、各団の決意表明、5カ国以外の日本から、またカンボディア(2002年プノンペン演奏旅行の際お世話になりました)から見えた方の自己紹介、旧知の仲間との再会、趣味の集まりですから話題は付きません。ビュッフェスタイルのタイ料理、珍しいお酒(タイのホテルのお酒は高価なのでノベは各自各国のお酒を持ち込んだ)を飲みながらアットという間にお開きの時間になりました。手締めは、3-3-7拍子5段階活用(これは、『だんだん締め』と呼ばれ、人間国宝・桂 米朝が考案したといわれているそうです。川村さん無断引用です。すみません。)で、手が締められ明日に備えて解散となりました。

2月12日(土)演奏会当日

当日は2時半開場3時開演、我々は7:30ホテルを出発、会場のタイ文化センター(日本のODAの予算で出来たとの事、直前の1/17には地下鉄事故のあった駅の近く)へ。

リハーサル開始時間になってもピアノの調律が終わらない、予定を30分遅らせてやっと間に合いました。BKKメンバーによるとタイでも予定が遅れるのは毎度のことと言ってました。マレーシアでも日常茶飯事、KLグリーの2002年定演の時はピアノ調律が遅れ、調律完了と同時に開演と言うことがありました。タイも同じだと思いますがマレーシアに来られる方は、こちらの予定はあくまで予定でありその通り事が進む保障は無いことを覚悟の上お出かけ

演奏

日・英・タイ語の3カ国語に堪能なバンコク混声のメンバー宇崎喜代美さんの素晴らしい司会(3ヶ国語ですよ!)で始まりました。

余談ですが我がKLグリーでも、日・英・馬の3ヶ国語での進行もあります。

まず、全員起立の中、60名のバンコク混声合唱団による「国王賛歌」です。以下、演奏曲目の紹介は各団提出のコメントをプログラムから引用しました。伴奏者の載っていないのは、無伴奏(アカペラ)です。



演奏曲目

「国王賛歌」バンコク混声合唱団(60名)
全員起立
指揮 福本良一

第1ステージ・マニラグリークラブ(10名)

指揮:稲葉谷隆

「世界の懐かしいメロディーより」

誰もが何処かで一度は聞いたことあるような、世界各地の懐かしい歌、ドイツの「野ばら」と「菩提樹」、アメリカの「おおスザンナ」、スコットランドの「ロッホ・ローモンド」、韓国の「アリラン」、日本の「琵琶湖就航の歌」と「昴」、そしてフィリピンの「ダヒル・サヨ」を演奏します。

第2ステージ・香港日本人倶楽部男声合唱団(9名)

指揮:清水光洋

「香港発世界一周」

まずはアメリカに飛んで黒人霊歌2曲「深い川」「So on Ah Will Be Down」、そして宇宙に飛び出して「宇宙戦艦大和」、そして「80日間世界一周」と

「セントルイスブルース」。最後に香港を舞台にした映画「慕情」の主題歌を歌います。

第3ステージ・男声合唱団マーマーヨ(27名)

指揮:千葉啓一

「柳河風俗詩」

この曲は歌人北原白秋の代表的な詩集「思ひ出」の中から、彼の故郷柳河にちなんだ4つの詩に多田武彦により作曲されました。1951年より作曲された日本の合唱作品の中で最も古い物の1つで、多くの男声合唱ファンに親しまれています。

「柳河」欄干橋、薊の花、少女が巻く鞆の毛糸、夕暮れの町並み・・・辺り一面が茜色に染まる柳河の情景をノスタルジックに歌います。

「紺屋のおろく」美しい女性への反感、そこに秘められた憧れを歌います。

「かきつばた」廃れた城下町に侘しくすまう花街の女を、柳河を巡る溝渠に咲くかきつばたになぞらえて歌っています。

「梅雨の晴れ間」柳河に旅役者が訪れ、畑の上で作った特設舞台で「義経千本桜」を上演。昨日の雨で客席の平土間にたまった水を懸命にかき出しています。

第4ステージ・ジャカルタ・メールクワイヤー(10名)

指揮:川西一男

「シーシャンティより」

シーシャンティは海の男の労働歌です。古くから世界の七つの海を雄飛していたイギリスに多く生まれ、特に帆船時代の水夫の歌として広く歌われたようです。

“Swansy Town”、港町Swansyに残してきた恋人のナンシーへの想いを手紙に託します。

“Haul A Way, Joe”、帆船の帆を上下する時に歌われた労働歌。“引け、引け、ジョー”

Shenandoah アメリカの開拓時代、西部に向かってミシシッピ州を進んだ時に歌われた。恋するインディアンの娘に歌う白人商人の歌です。

“Blow The Man Down” リーダーのソロにコーラスが唱和する代表的な労働歌。“町であった女に声をかけたが、あっさり振られたぜ”“ヤツをリバプールまでぶっ飛ばせ”と掛け合います。

“Sailing, Sailing” 今船出する船員達が“さあ、船出しよう。波立つ海を乗り越えて、嵐が来ようとも・・・”と歌います。

第5ステージ・KLグリークラブ(22名)

ピアノ伴奏:井上芽久美

指揮:亀井清一郎

「ビートルズ・ナンバー」

ビートルズは1962年にデビューし、イギリス本土は勿論アメリカ、日本など世界中で大人気を呼び1970年に解散しました。ビートルズを聴いたことの無い人でもビートルズの曲を知っている人は多いはずです。例えば YESTERDAY などは音楽の教科書に載っています。数ある彼らのレパートリーの中から、皆様に親しまれている曲を選んで演奏します。“Day Tripper”(1965年)ドラッグソングとの説も有ります。

“Girl”(1965)キリスト教関係の本にヒントを得たバラード

“Michell”(1965)中期を代表するバラード、一部フランス語を使っています。

“Eleanor Rigby”(1966)エリナー・リグビーとマッケンジー神父を登場させた物語風の曲。

“Yesterday”(1966)ポール・マカートニーが「ある朝目を覚ますと頭の中でこの曲が出来上がっていた」と言ったとか、ビートルズの代表的なスタンダードナンバーです。

第6ステージ・バンコク混声合唱団(60名賛助出演・・・混声です。)

ピアノ伴奏:香田弘美

指揮:福本良一

「日本抒情歌曲集より」

明治から昭和にかけて作曲された日本近代歌曲から名曲を、作曲家林光氏が東京混声合唱団の求めに応じて混声合唱に編曲した曲集。「お菓子と娘」パリを描いた西條八十の昭和初期の詩に橋本国彦がシャンソン風の洒落た曲を付けました。

「ちんちん千鳥」北原白秋の詩は日本の冬の凍てつく夜を思い出させてくれます。

「野の羊」軽くてどこか哀愁を帯びた大木惇夫の詩には心を惹かれます。

「鉾をおさめて」大漁を祝う威勢の良い曲、往年の名テナー故藤原義江氏の名演が耳に蘇ります。

第7ステージ、合同演奏(80名・・・男声)

指揮:亀井清一郎

「Gaudeamus」ドイツの学生歌として知られています。歌詞はラテン語で「若いうちに喜び楽しもう！楽しい青春期のあとで、厄介な老年期のあとで我々は

埋葬されるのだから」と歌っています。

「野ばらの花」ゲーテのこの詩につけられたメロディーは100種類に近いと言われていています。作曲者不詳のこの曲は男声合唱のもつ深く美しい響きを持っています。

「シュテントヒェン(閨窓夜曲)」ドイツ版の男声合唱曲集(リーダーシャツ)に含まれていたもので、セレナードもしくは小夜曲とも題されるこの種の歌は、夕べに恋人の窓の下で歌う歌です。

「蛍の光」スコットランドでは国歌にも匹敵する曲で、様々な集まりで歌われます。集まりの参加者が円陣を組み、隣の人と手をつなぎながら歌います。別れの歌ではなく、旧友と再会し昔を偲びつつ杯を挙げようと言う物です。

そして、最後は会場の皆さんと歌いました。「みんなでお歌おう」は合同指揮者亀井さん選曲の「千の風になって」でした。

「私のお墓の前で泣かないでください。そこに私はいません……」芥川賞作家の新井満氏が作者不詳の“A Thousand Winds”を翻訳され氏自身の作曲になる曲で、人間の死を独自の視点から捉えた作品、「千の風になってあの大きな空をふきわたっています」死は終わりではないと語っている名曲です。

オンステージ合計80名、サポーターを入れると実に133名。香港からは9名、マニラ11名、ジャカルタ7名、BKK24名+OB4名(日本帰国組)、KL23名、カンボディアから特別参加1名、さらに大変お世話になったBKK混声の女声23名のステージでした。

KLからは団員23名・サポーターが23名、KL関係者日本から4名とまさにお祭りにふさわしい参加者の数でした。

ツナミ(英語でもTsunamiです。知らなかった)被害甚大なタイでの開催ですので会場で募金活動も合わせて行われ、タイ日本人会を通じてタイ政府に寄付されたことも併せてご報告いたします。

打ち上げ

このために本番のステージがあったのです。合同指揮の亀井さんと大阪から駆けつけた川村さん(亀井さんと同じ関西学院グリーOB)との関西弁評論漫才に続いて各団隠し芸の競演でした。どの団も抱腹絶倒の芸達者揃いですが他国は割愛、

KLの出し物のみチョッとだけご紹介します。ものすごくウケマシタ。

“Beautiful Nine”が2曲

KLのサポーターの奥様方9名による2部合唱、歌も元よりそのコスチュームで受けた。お下げ髪姿です。

“Logins Four”(ローにアクセント)で2曲

我がグリーの各パートの長老による本格的(?)グループ。ダークダックスをイメージして頂ければ近からずとも近からず(残念ながら「遠からず」ではないのです。

私も一員。両方とも写真はHPに有ります。

2月13日(月)

仕事を抱えている大多数のメンバーは夫々の任地へ向けBKKを離れましたが、友人夫婦と私達の4名はさらに1泊、南の会村上さん・大瀬戸さんと「二の蔵」で旧交を温めました。村上さんはご長男がインターで学ばれておられる関係で在タイ、大瀬戸さんは当地で自営、お二方とも会員がバンコク訪問の際の貴重な相談相手として誠にふさわしい方々と思いました。

さあ、第2回は何所の国でしょうか。消去法(海外危険情報by外務省)だとKLになります。国外から参加するには最低3日間の休暇が必要ですが、国によって違う祭日。各団の定期演奏会との調整。またマレーシア特有の習慣(演奏会は午後8時半開演が習慣になっている・・・お祈りの時間との兼ね合い?)では終了後の打ち上げの会場が無い。公の会場だとエンターテイメントビザが必要、日本人会にはふさわしいホールは無い。等々の難題がひかえています。

そして次回開催の時にはメンバーの3分の1は入れ替わることでしょう。任期の平均は約3年、駐在員の宿命です。

以上、近況報告を兼ね尚且つ本号編集方針にのっとり(?)極々趣味性の強い報告になりました。

2005年3月3日記

昨年12月チェンマイに15日間のショウトステイし、チェンマイ生活にすこし慣れた12月17日、エレファントツアーに申し込み、参加したときの物語です。

サプライズその1

メインの象のりで山の中、川の浅瀬をゆっくり、ゆっくり小1時間かけてもどる途中(経験ある方はご存知のとおり、象を扱う少年、青年が象の頭部に乗っています。そして一般的には小奇麗でないTシャツとゴムズリという姿、恰好です。今回もまさにその出で立ちでした。)チェンマイから150km程離れたこの山の中、電気も無いところで何百年も同じ生活スタイルと勝手に思い込んで象のりの青年を見ました。象の歩く速度は時速1, 2kmか? ゆっくり、ゆっくりと同じ心地良いリズムで揺られて乗っていました。ところがサプライズ……、彼はやおらTシャツの中をまさぐって、何と出てきたものは携帯電話。彼は当然1, 2分間おしべりしている。電気もガスも何も無い山の中、何百年も昔から同じ生活している筈の若者が…。タイの少数山岳民族が住んでいる所でも携帯電話は普及しているのだ。

このミスマッチ

サプライズその2

エレファントツアーは総勢9人、内訳はタイ人ガイド1人、USAヤングギャル2人、ニュージーランド新婚カップル2人、南アフリカビジネスマンファミリー3人、若くない日本人1人でした。当然にして共通語は英語であり、英語でのガイド説明でした。帰途につくバスの中で南ア男性(40代後半)とニュージーランド男性(30代前半)の会話です。ワンボックスカーの後部座席で2人は会話を始めた。自分はその前列にいた。最初はお互いに仕事の話でかなり大きな声でしゃべっていた。突然トーンが低くなり小さな声になったので自分は神経を集中して耳をそばたてた。以下彼等の会話の推測です。

N,Z…南アフリカの人口はどれ位ですか?

S,A…人口は…千万人で黒人は…千万人そして白人は…百万人です。やはり黒人がおおくなるのは心配です。ところでニュージーランドの人口はどれくらいですか?

N,Z…ニュージーランドは…百万人です。アボリジニは…人で白人は…人です。原住民が多くなるのはやはり心配です。

彼等は余所者であり、その意識は21世紀に生きている人々でもしっかり持っている。建前は先住民の権利を尊重して平等に扱おうとしているが、本音はやはり余所者意識、加害者意識(?)を持っている。

これは日本人には無い発想、意識だと思う。白色人種が有色人種の住んでいるところを支配して国家として成り立っている国は今後も人種問題を内包していかざるをえない。(つまり融合ということはあるのではないのでは?)このような会話を生の声で聞いて非常に面白かった。

サプライズその3

ある日の夕方5時ごろ、ホテルのロビーにテレビを観ている宿泊客の子供たちが2, 3人いた。彼等は8歳から10歳か。どのような番組を観ているのかとテレビ画面を観たら昔なつかしいアニメ番組、機動戦士ガンダム、一の類である。当然ここはチェンマイなので吹き替え版である。本当に子供たちは嬉々として見ている。(自分の子供が小さかった頃の20年ほど前の光景と同じである。)このアニメ番組は間違いなく日本製のアニメだが彼等は吹き替え版でなんの違和感もなく見入っている。東南アジアの子供たちは共通の文化をテレビ、他メディアを通して体験している。このような現象は自分等の子供時代には無かった。この子供たちが大人になったとき彼等は東南アジアの文化の共有、共通意識というものを潜在的に身に付けている時代になる。そういう時代はどのような新しい文化、新しい現象が生まれるのか?10年後, 20年後想像すると非常にエキサイティングである。

まとめ

チェンマイでは老いて益々盛んで元気な人々にたくさん会うことができました。チェンマイをはじめ東南アジアに出かけていろいろなサプライズ、感動を体験しましょう。

1. はじめに

2001年6月、私は、タイ国チェンマイのVocational Collegeに日本語教師として来ていた。それから、翌年3月まで楽しい新しい驚きのあるマイペンライ生活が始まったのであった。10年ぐらい前、50歳ごろから私は将来、海外で暮らすために日本語教師をしようと考えていた。そのために、アルク日本語教師養成講座の通信教育(420時間)を受講した。夏期休暇を利用して中国、フィリピン、タイ、オーストラリアを旅行した。初めて上海に海外旅行した時、昭和20年～30年代の日本の情景を懐かしく見たことを忘れていない。

それから、特にアジアで暮らす夢は大きくなっていった。2001年4月、60歳で定年退職したと同時にフィリピンのバギオに向かった。目的は1年間の英語学校に通うことであった。

バギオに住む長倉洋平さん(初めの頃の会報にバギオの暮らしを紹介してくれた方)がバギオ大学に英語コースがあると教えてくれたので一緒にU. Bに書類を持って行った。しかし、窓口では、4年間の英文学科しかないと言われ、4年は長いなと思った。書類の不備もあり日本に帰ることにした。この時、インターネットの使い方を知らなかったので、事前の情報収集の不足が悔やまれる。日本に帰って、書類を外務省に持って行った帰りに水道橋にある国際親善文化交流協会(IFCA)に立ち寄った。

IFCAは、日本語教師の養成と派遣をしている会社で、前に学んだことがあった。チェンマイに住んでいる宮 博さんと一緒に学んだことがある。さっそく、新谷会長にフィリピンで日本語教師の仕事がないか聞いたところタイならあるというのでチェンマイの大学に行く決心をした。紹介料と高い派遣料を払うことになったけれど、語学留学は日本語教師のための準備でもあったのでタイで日本語教師の経験を積むのも意義あることだと思った。実際、東南アジアの新学期は6月からで時間もあまりなかったのである。タイでの日本語の授業はタイ人の日本

語教師のサイユート先生のアシスタントであった。観光学科の主任でもあるサイユート先生は会議が多く、私一人で教えることが多くなっていった。学生は、まじめで礼儀正しく、教師を尊敬する態度を示すので教える側も真剣になる。日本の学生のように騒いだりしゃべったり携帯電話などしたりしない。日本の教育は異常なのである。大学の待遇は宿舎と食事の提供、それに休日の食事代、4500Bの支給だった。授業は、1コマ100分で1日2コマ、始業は8時、終業は7時である。

1年の後半になると1日3コマに増え、ホテル学科の授業も受け持つことになる。この大学での体験で大きな収穫は、外国人が私一人なので日本の代表のようであり親善大使なのだという実感があり、日本人の恥にならないように気を配って行動したことである。

2. 日本語教師の資格

私的なグループや個人教授などでは、特に資格は必要ない。しかし、国内の日本語学校や海外の日本語学校や大学や専門学校や教育機関で教える場合は資格が必要である。

求人的一般的に問われる資格は、大学卒業又は高卒以上の学歴と次の三つのうち、一つである。
①大学の日本語教育の副専攻②日本語教師養成コース終了(420時間以上)③日本語教育検定試験合格者。その他、日本語教育経験者を求めるところもある。また、年齢制限を記載するところもある。国内では、半数ぐらいの日本語学校で年齢制限がある。台湾や韓国やマレーシアなどが多い。それは、授業時間が多く若い人でないと勤まらないからだろう。

資格を取るには、養成コース終了が取得しやすい。通信コースと通学コースがある。

通信コースは、アルク日本語教師養成講座は名が通っている。期間は1年、費用はおおよそ10万円である。通学コースは6ヶ月で、費用はおおよそ60～70万円である。授業時間は420時間や最近では450

時間で養成している。授業内容は、文法、音声、語彙・意味、文字表記、言語学、教授法、評価、教材・教具・実習などである。当然、通学の方が実習時間が長い。

3. 日本語教師の求人

勤務条件や待遇は、国や教育機関によって色々ある。2004年の国別におよその傾向をわかる範囲で述べてみる。

(1) 中国

中国の求人は一番多い。日本企業が現地進出し、しており経済発展が著しいためである。

中国人や日本人経営の日本語学校があり、月給が3千元平均(約4万円)。宿舍、食事提供で週5日勤務、約20時間授業である。大学は夏休みが7～8月で9月始業、6月終業である。

待遇は日本語学校と同じくらい。上海、杭州、青島、北京、蘇州、東北の各省等が多い。

(2) 韓国

韓国も多くなっている。日本語学校の月給が平均100万ウォン(約10万円)、住居提供、勤務条件は、週5日、1日5時間ぐらいの授業で年齢制限が多い。

(3) 台湾

台湾は日本語学校のみで、若い人を募集している。月給は30,000元(約10万円)、住居提供、勤務は、週5日で50時間と授業時間が長い。

(4) フィリピン

2004年から募集が時々来るようになった。マニラの大学や日系人の日本語学校や日系企業の日本語学校で募集が来ている。月給が10,000ペソ、宿舍、食事提供である。FTA交渉が妥結して日本がフィリピンから看護婦と介護士を受け入れることになってから、マニラの大学を中心として日本語学科を創設する動きがあり、2005年になってから求人が来ている。これから、有望である。

(5) タイ

タイは、バンコクやチェンマイが多い。大学や日本語学校であるが、特に最近、日本企業が日本語学校を設立している。タイは、教育省が日本語教

育を大学などに義務づけているので求人は増加している。給料は、10,000～20,000B、宿舍、食事提供である。宿舍は、エアコン、テレビ、などの設備がよい。勤務条件は、日本語学校で週5日、30～40時間。大学は、週5日、20時間ぐらい、大学の休暇は、夏休み4月と5月の2ヶ月が多い。

(6) ベトナム

ベトナムも増加している。給料は、300USドルぐらい。住居提供。ハノイやサイゴンの日本語学校が多い。

(7) マレーシア

マレーシアは、少ない。帝京日本語学院がクアラルンプールにあり、募集している。給料は3,000リンギット(10万円)。

(8) カンボジア

カンボジアは、日本企業が少ないが日本人旅行者が多いのでガイドになるため需要が多い。また、若者が国造りのため日本語を学ぶ熱意が強い。アンコールワットがあるシェムリアップでは、100USドルから最高1,000USドルの給料を出す学校もある。プノンペンも学校が多くなってきた。勤務時間は、朝と夜で、学生が登校前と下校後に勉強するためである。大学や小学校まで、土曜も休日ではなく、4月、5月の夏休みもない。

(9) その他

インドネシア、スリランカ、ウズベキスタン、シンガポール、ネパール、トルコ、中央アジアの国々などが時々ある。

興味のある方は、インターネットで調べることが出来ます。

<http://www.ijec.or.jp>

国際日本語研修協会 日本語教師求人情報

<http://www.nihonmura.com/>

NIHON MURA 日本語教師求人情報

国際日本語研修協会(IJEC)の方が信頼性がある。NIHON MURAは、個人の派遣会社の求人もあり、特に、フィリピンは、神戸の業者が多く、紹介料を取っているようだ。神戸は船員の関係で船員の日本語教育に関係した人が多いせいだと思

う。応募方法は、履歴書をE-Mailで送る。面接する場合もしない場合もある。海外は面接がないことが多い。そのかわり、質問がある場合もある。希望の求人があれば早く応募した方がよい。応募者は供給過剰で、特に若い女の子が多い。締め切り前なのに決まっている場合もある。我々の競争相手は、若い女の子なのだ。侮るべからず。ボランティアの募集もあるが、資格はうるさく言わない。熱意のある人を求めている。

他に海外求人情報として

- ・シルバーボランティア協会(中国、モンゴル、東南アジア、中央アジアなど)
- ・JAICAシルバーボランティア(東南アジアなど)
- ・JAICA日系社会シニアボランティア(南米)などがあります。

4. フィリピンの大学探訪記

2000年8月、私は、セブ市、タグビララン市、ダバオ市、バギオ市を調査と観光とゴルフを兼ねて訪問した。大学での日本語教育事情に興味があったので直接探し訪ね歩いた。

(1)セブ市

a. Cebu State College

ここでは、日本語クラスがあった。7クラスあり1クラス40人ぐらいの生徒に一人の先生が教えていた。Mr. Antonio Odanngoというフィリピン人の先生だった。

b. U. P

学部長に話を聞いたが、日本語は教えていなかった。ただ、イロイロ市のU. Pには日本語学科があるとのことだった。

c. San Carlos University

日本語学科があり、6クラスあり1クラス40人の生徒で、渡辺先生が一人で教えている。給料は、20,000ペソだそうで、他の先生を雇う気はないそうだ。この大学に、昨年訪れた時、まだ、渡辺先生が教えているようだった。

(2)タグビララン市

ボホール島に行き、University of Boholを訪問した。

副学長の Ms. Nuevas T.Montes さんに会い話を聞いた。ここでは、Offering Japanese を教

えているそうだ。彼女は、興味を示し、後日、学長と相談して電話をくれると言ったが電話はなかった。

(3)ダバオ市

☆University of Mindanao

学長に会って話を聞いた。日本語学科はないが、時々、ビジネス日本語を教えているそうである。日本人の教師を雇う気はないそうだ。日本に多くの女性が行って働いて帰ってきているので彼女らに教えてもらおうそうだ。日本語は、その程度なのかと憤慨したものである。今なら、日本語学科が出来ているかもしれない。

(4)バギオ市

☆St Louis University

☆University of Bagio

などがあるが、日程の都合で訪問できなかった。昨年、インターネットで調べたが日本語コースは残念ながらまだない。

(5)マニラ市

マニラにはたくさんの大学があり日本語学科もある。

☆New ERA University

☆Ateneo de Manira Univesiy

☆De La Salle Univer sity

など、日本語学科がある大学が多い。また、看護学科でも日本語教育を始める動きがある。なんといつてもフィリピンの首都は、マニラである。マニラから地方都市に波及していく。私はマニラの調査を避けた。個人的にマニラは、蒸し暑くて住むのが嫌なのである。しかし、問題ない方は、マニラで求人が多いのでトライしてみたらいかがでしょうか。

5. 再び探訪旅行

2004年7月にカンボジアを訪問し、次にフィリピンの大学を、再び訪問してみた。

(1)セブ市

☆Normal University(旧名 Cebu State College)

最初に訪ねた時、学長が不在で美人の秘書Rose villaさんに、大学で9月から、日本語、中国語のコースを作る計画があるから、後日、来てくださいと言われた。そこで、履歴書などを置いて学長がいるとき

に訪問した。しばらく待たされた後、部屋に入ると太った女の学長が顔にペタペタと白い粉を塗っていた。彼女は、「私は、沢山の日本人の友人がいる。」というので、資格を持ってもらえるのかと尋ねると、今度は「JAICAから来てもらえるからいい。」という。わざわざ、秘書が言うから訪ねたのにそういう言い草はないだろうと憤慨した。お金がかかるとなると話しが駄目になる。私が要求したのは、宿舎と食事である。それが駄目ならそれに見合うお金と書いたからかわからない。ボランティア教師の場合は、教える代わりに宿舎と食事は謝礼みたいなものである。それは、最低の提案としてタイでも要求してきた。

IFCAでも、それを要求してきたわけである。全部、当方が負担するというのは、相手に対しても失礼である。気持ちとして出来る範囲で与え、貰うという考え方でいいのではないかと思う。

それにしても、椅子にふんぞり返って誠意のない対応をされると頭に来る。フィリピンの大学で初めての体験だった。彼女は、多分、強いコネがあるから学長になれたような人間だと推察する。そのように、品格からして教育者としては落第である。

(2) マンダウエ市

☆University of Cebu(Mandaue School)

マンダウエ市にある看護学科のあるU. C分校を娘が通っているというタクシー運転手に案内してもらって、マクタン橋の近くの校舎に行った。青みを帯びた灰色のきれいな校舎だった。校長のMr. Julius P. Paqueo氏に話を聞くと10月に、今、教えているフィリピン人の教師が辞めるので代わりに探しているという。そこで、履歴書を渡して頼んだ。彼は、後日、FAXで連絡するという。学校ではインターネットが出来ないのでE-Mailが使えないそうである。事務所でパソコンがあるのを見かけたのだが。

日本に帰ってから電話で連絡したが、全然返答がなかった。彼につないでくれと頼んでも秘書は聞いてくれなかった。きっと、代わりが見つかったのだろう。コネ社会だから仕方がないのである。フィリピンはコネ社会であるところの南国暮らしの会の方から言われたがそれを痛切に実感させられた訪問であった。この国で日本語を教えるのは尋常ではないと感じた。

(3) カンボジア、プノンペン市

☆Cambodian Mekong University

インターネットでこの大学に問い合わせたら、学長から返事が来たのでカンボジアに行ってみた。学長のMr. Ich Sengさんは、まだ、若く30~40代ぐらいであった。年長者の知識人はポルポトに虐殺されたのでいない。学長の話では、今、教えている日本人の牧師が11月で辞めるので代わりに教えて欲しいという提案である。勤務は、月曜日から土曜日まで、1日、4時間授業。

8時から5時まで勤務時間で授業準備の仕事がある。宿舎、食事提供。給料は100USドル。生徒が15人ぐらいなのでそれしか出せない。宿舎は建築中だった。夏休みがあるかと聞くと、無いと言う。4月、5月は猛暑だから、タイでも休暇だったので信じられなかった。ずっと以前から、カンボジアの学校はすべて夏休みがないのだそうだ。まったく知らず疑いもしなかった。

後日、カンボジアの気候に自信がなかったのと休暇が少ないので断った。非常に残念がっていた。後発の大学なので生徒を集めるために必死で頑張っていることを知って申し訳なく思った。私の一生の不覚であった。彼の誠意に報いることが出来ず残念である。

6. おわりに

外国暮らしは人それぞれの暮らし方がある。私は、日本語教師をして現地の人に役に立ち交流も出来ればいいと思った。それから、私の家内は外国に住みたくないのでも単身で暮らさなければならぬ。自分だけ贅沢な暮らしはできない。日本と外国にかまどがあるということはお金がかかる。そういうわけで、少しの待遇があつて仕事も出来てゴルフも出来ればいいかなと思っている。日本語教師に興味をお持ちの方は少ないと思いますが、失敗ばかりの探検記としてお読み下されば幸いと存じます。南の国で暮らすには、なんと言っても健康第一であると痛感しています。タイでの暮らしは楽しかったけれど、住んでいた宿舎がある所は夜が蒸し暑くて睡眠不足で大変でした。

だから、今、適地として気候を確かめるようにしています。欲を言えばゴルフが簡単に安く出来る所を探しているところです。果たして見つかるのでしょうか。

海外旅行初心者のヴェトナム・ アンコールワットツアー旅行

会員番号406 附田 雅史

■アンコールワットを観たい。これは小学3年生の頃観た映画に戻る。ジャングルのとある村で一人の赤ちゃんが居なくなったことから始まるジャングルブック。オオカミに育てられたモーグリー少年と森の動物そして人間が繰り広げる物語です。森の動物の合言葉は「お前と俺の血は同じ」でした。これは今は亡き母親との懐かしい思い出でもあります。

■ある時、旅行雑誌を見ていたら見覚えのある写真があった。子供の頃観た密林に埋もれた財宝の眠るあの古城そっくり？ タプロム寺院？どこにあるんだ？？ アンコールワット？？？確かにこれだ、ジャングルに眠るあの古城。行きたい…それから20年が経過した。今思い出す映画の印象は、人知未踏の鬱蒼とした熱帯雨林の深か～い緑の揺らぎの中に神秘的な映像そして吸い込まれるような静けさがあったと思う。夢中だった母親と3回も見に行った。それにしても、50年以上も前にここまで行って撮影したディズニー(と思う?)は本当の映画人だと思った。ちなみに現在売られているアニメなどは足下にも及ばない。子供心に迫るものがあった。

■思いを遂げて訪ねた現実のタプロムは、確かにガジュマルの根があたかも寺院の秘密と財宝を守るがごとく絡みつく。寺院の見かけや状況はよく似ていたが、回廊奥の財宝のある裏側に回って見たら瓦礫の山で何もなかった。カラカラに乾き観光客の足跡だらけだった。道なき熱帯雨林の鬱蒼と覆い被さる巨木や汗ばむ湿度感など面影はなかった。50年前はどんなだったろう。ガイドは植物による寺院破壊実験の場所と言うが、まるで映画のセットみたいだった。私は何の為に来たのか？50年来の夢をぶちこわしに来たようなものであった。私のアンコール旅行はタプロムを見たいだけだったのです。というわけで後はあちこちガイドブックの確認のような観光旅行となりました。その中で興味を引いたのは気球でした。アンコールの夕日を見る為に丘を登ると

西の空にぼっかりと浮かんでいた。あの気球から赤く染まっていくアンコール寺院を観たい、写真に撮りたいと思った。事前に添乗員に自費で行きたいといったが断られた。私は丘に直登(20分)したが足の弱い人はゾウさんに乗って行く緩やかな道(30分)を行く人もいた。しかし、この山道には直視できないほど貧しい悲惨な人たちが沢山いて物乞いをしていたという。気持ちが悪くなったと言っていた。直登の方は楽器を奏でる人達がいて気持ちよく往復できた。チップをとって箱を覗くと1\$が1枚あった。え～と思って手にした500リエル札そっと引込めると「いいよ」といつてくれたので入れた。にっこりとしてうなずいてくれた。ほっとした～汗～。

■両替:1\$=120円位に使えた。¥を\$に両替した方が得で又使い勝手が良いと思う。現地感覚を身に着けようと1\$以下の端数は現地通貨を使った。添乗員は1万円もあれば1週間十分とのことで、ヴェトナム・カンボジア両国のホテルでそれぞれ千円と10\$を両替して比べた。千円28000Rところが500Rの新札を束でくれた。千Rは無いと言う。後日これが役立ちチップに、写真のお礼、子供とおしゃべりをして商売の邪魔をした、おやつ代にと何だかんだで使った。気持ち分楽しい旅が出来た。他の人も次回真似しようと言っていた。しかし入管のチェックでバッグを開けた時札束を見られ「これは何だ」と言われた。出来ない英語で小声でマイマナーと言ったら「お～」と言ってOKだった。

■食事:和食中心の私の弱点でこれさえなければ旅はバラ色なのですが。現地食を食べれなくなるとつれて気弱になって帰国したくなる。味覚が崩れて日本食を食べても日本食の味がしなくなる。周囲で現地食を美味しく食べていると更に参る。どんな味なのかと思ってチャレンジしなさい、慣れなきゃ駄目よ等とよく言われる。ある時仲良くなった二人連れの女性が私の様子とお話を聞いてある朝

「ほら好きなだけ食べていいよ」と出されたのが「漬け物詰め合わせセット」梅干・粕漬など5種類、タッパー2箱持参し一箱はもう完食とのことでした。お粥と一緒に久し振りにお腹いっぱい食べた。すぐつけ上がる私はぬか漬けはありませんか？と聞いたらあれは駄目よと即座に言われた。漬け物詰合せはお薦めです。韓国サッカーの力の源はキムチパワーと言われる。世界中の料理はキムチをぶっかけられると全部韓国料理になると思う。韓国人は食事の時いつも手にぶら下げて持ってくる。実はセブで朝食をポツポツ食べていたら、隣の若い韓国人夫婦がキムチを掛けて食べろと言う。キムチ味になって美味しかった。キムチはキムチの味がした。キムチは味覚直しにいいと思った。これもお薦めかもしれない。

■ベトナム料理: あっさり・さっぱり系で案外食べれた。朝食には各種のパンやプリンなどもつき美味しかった。夕食でサラダを食べていると、食べるの？大丈夫？と言われ、え〜と思って止めた。食後のテーブル上には野菜系のサラダがほとんど手つかずでズラーと残り、奇妙に感じた。随分と失礼なことでボーイさん達の視線が気になった。正露丸を3粒、常時携帯していて気になったとき飲むことにしている。サラダ好きの私は仕方なく果物でごまかしている。南国の皆さんは野菜をどうしているのだろう。

■携帯と現地ガイド: 旅先で携帯SIMカードを買うことにしている。迷子になった時などの用心と再度訪問する時の為です。今度くるとき宜しくと気心のあったガイドの番号を保存して貰う。現地情報など詳しく教えてくれる。今回もハノイとホーチミンのガイドの番号を貰った。携帯SIMカードは初日のハノイで通話料込み40\$だった。機内で商用で行くという日本人が運転手兼ガイドに4000円渡すと聞いていたのでOKと思った。しかし高いような気もするし、その人もその様なことを言っていた。次回、プリペイドカードだけで幾らするのかを確認したい。携帯から日本に直接電話したらちゃんと通じ、ホテルの電話より気楽に使えると思う。カンボジアではSIMカードを買っている暇も使う機会もないと思い買わなかった。今までに数都市のガイドの番号を保存している。旅に出る時はその国のSIMカードを入れていく。再会出来るのが楽しい。

■市民生活: 東洋のプチ・フランスといわれるホーチミン市の人口は800万、バイク人口は300万とのこと。朝夕の通勤時間帯はバイクで道路が埋まる。走り始めるとある種の生き物の様な川の流れるような状況になる。観光バスのフロントでカメラを構える。ほとんど二人乗りで排ガス対策で帽子とマスクをしている。信号で止まった時はカラス天狗か月光仮面の一群とのご対面となる。母子二人乗りのマスクにお揃いのキティマークには爆笑だった。交通ルールは有って無きが如しで細かくしょっちゅうブレーキを掛けている。ついに急ブレーキと同時にバイクとぶつかった。バスで座席に座って居ても気をつけた方がいい。市民生活は活気がありまた明るい開放感と何かあか抜けた魅力を感じる街です。ハノイより肌に合ういつか再訪したい街です。

■戦争と平和: 次は何処に？と考えている自分を悲しく思う時がある。初めての海外旅行の最終日、タイのカンチャナブリの橋のたもとでクワイ川への電車待ちをしていた。ドイツ人に写真を撮ってもらいフランス人に写真を撮ってあげた。各国の観光客や物売りの人々、土曜日で祭りのなか着飾った子供が走り回りその間をかなりの数の鶏が歩いている。その様子をボンヤリ見ているうちに、何故か今ここにいる自分を不思議に思った。貧しいながらも人々が明るくこの時を過ごしている。突然、「平和」この言葉が衝撃波のように体を突き抜けた。平和であればこそ異国で人々と同じときを過ごせる。戦争、あの子供達も笑っている人々も弱者が真っ先に生死を彷徨うことだろう。その後、片手にも満たない海外旅行なのにあの時の衝撃が薄れていくのが分かる。次は何処に？などと考えている時、ふっと思い出し寂しくなってくる……。

まだありますがこれで終わりです。

関東支部行事報告

関東支部長 宮崎 哲郎

1. 5周年記念式典及び

関東支部情報交換会

(平成16年11月14日)

南の会がNPO認証後5年を経過しましたので記念事業を行いました。

(1) 5周年記念式典

ア. 酒匂理事長より記念挨拶:南の会もそれなりに歴史があり、風雪に耐えココまで来たのは会員・役員・そして池田前理事長そして生みの親である元会長竹内様のご功績でこれに感謝。

南の会の現状(会員数現在532組850名)・将来展望・南の会の歴史等のお話を頂きました。

イ. 設立功労者への花束を池田理事長、酒匂理事長へ南の会「マドンナ」より贈呈。

ウ. 来賓挨拶:ワールドステイ元会長 森実政純殿より今後同会との連携を強めて行きたいとの熱いメッセージが送られました。(生憎現会長御用のためご出席できませんでした)

エ. 記念事業報告:海外旅行便利帳(医療偏)の発表を平尾理事、会旗の発表を市東理事(シンボルカラーの青・マークをベースとした素晴らしい旗です。)

なを、シンボルマークは先日商標登録が特許庁より認証されました。

オ. 新理事・退任理事・現理事のご紹介(20名となりました)

(2) 情報交換会

ア. フィリピン大使館観光省横山泰彦様より
:最近のフィリピンの状況、メディカルハブ構想、セブパシフィック航空(従来はフィリピン航空のみ)の乗り入れなどの最新情報。

イ. フィリピン大使館商務部 山家(ヤンベ)俊夫様より
:ほぼ永住権が得られる「特別居住退職者ビザ」のご説明。

ウ. タイ国政府観光庁 藤村 善章様より
:最近のロングステイ候補地としてチェンマイ・

チェンライ・ノンカーイ(ラオス国境で米国人ロングステイヤー多し) ウドンタニーパタヤ近郊(シーラチャ)などそしてタイのメディカルハブ活動(技術は国際的、コストはタイ国内価格でサービスを享受)

エ. 会員512金子良三 様より同氏の43年におよぶ経験から地球上ここダケは見ておかないと後悔すると思う名所ベスト10のお話でした。当日参加者102名

2. 忘年サロン会(平成16年12月12日)

(1) プログラム

ア. No.522 吉澤文五郎さんのお話

「何故、Jらいふでざいんの“元気な仲間たち”の欄で南国暮らしの会を最初に取り上げたか」のタイトルでJALのホームページに4回も南の会が取り上げられたこと、その理由が非常に元気のあるシニアの集いであったことなどの裏話をご披露されました。

イ. No.417 木内登希晴さんのお話

「両親とのチェンマイ生活体験」

80代のご両親とすごした2ヶ月の生活のお話。チェンマイではお年の方にとっても何の違和感がなくすごす事が出来、満足出来る場所であったことを報告されました。特に毎日のマッサージが良かったようです。

ウ. No. 636 鶴岡 照郎さん

6ヶ月振りに帰国のセブ情報をご披露されました。益々セブがよくなってきたご本人の心酔ぶりは幸せそのものした。

エ. No. 80阿部 功さん

タイ・パタヤ、シラーチャのLS可能性検討報告。パタヤは白人、シラーチャは日本人の住み分けがありパタヤの方が物価が安いとのお話は興味あることでした。

オ. 725 森実 政純 さんより東京湾クルーズ船「レディクリスタル」によるクルーズ(2005年1月7日)のお誘いがありました。

費用4,000円

カ. 134 松岡 且視さんチェンマイ報告

チェンマイにおける辛口の問題点数件(スモッ

グ、歩道の段差、ボランティア団体の高額な食事代等)の報告でした。

(2) 福引大会(696 加藤明さん司会)

各人持ち寄りの500円以内のプレゼントの交換、童心に返って楽しみました。

参加者合計86名

3. 平成17年2月サロン会(平成2月12日)

総数で60数人を超える方が出席でした。

特にこの日はビジターの方が16人もお出でになり会員係りの平賀さん大忙し、用意した資料が足りずに困っておりました。出席総数の30%弱です。またご出席のメンバーは800番代の方が多く常連のベテラン会員は少なく久しぶりに来た方は知らない方が多いので戸惑っておられました。

情報提供者及び関連事項は下記の通りです。

- (1) 646 渡辺 徹 さん、636 鶴岡 照郎さん
(セブ副支部長)がセブの情報を。特にタクシーと携帯電話のお話。
- (2) 休会中の立道和子さんがLS地ゴールドコースの情報と近著のご紹介。
- (3) 665 浦野晴介さんがチェンマイ2ヶ月の生活情報を。
- (4) 696加藤すみ子さん、689小池由輝雄・祐子さんが西カリブクルージングの感想を。食事の量が多すぎて困ったことなど。
- (5) 725 森実 政純さんがハワイ・クルージングの紹介
- (6) 281 梶村真一 さんがスペインの旅情報

4. 平成17年3月サロン会(13日)

役員会にご出席の森川関西支部長、高橋東海副支部長、橋本甲信越副支部長、和田東北支部長、一時帰国中のペナン木村支部長、ゴールドコースト磯崎様など草々たるメンバーの方々のご参加を頂いたおかげで94名(ビジター約10名)の方が出席され盛大な会となりました。

上記各氏の自己紹介及び各支部、各地の近況のお話、質疑応答、のほか各国別の地区分け懇談会の席を設け、活発な情報交換、質疑が行われました。

地区別としての懇談は

1. ペナン 木村支部長

2. GC 磯崎様
3. ブルガリア 高橋様
4. カンボジア・ベトナム・台湾
木内ご夫妻・山田様
5. バリ 加藤明・久子様
6. フィリッピン(セブ)今野様
により実施いたしました。

当日はTBS社のテレビ取材が行われました。

3月26日の同テレビ6時30分「報道特集」にて放映とのこと。

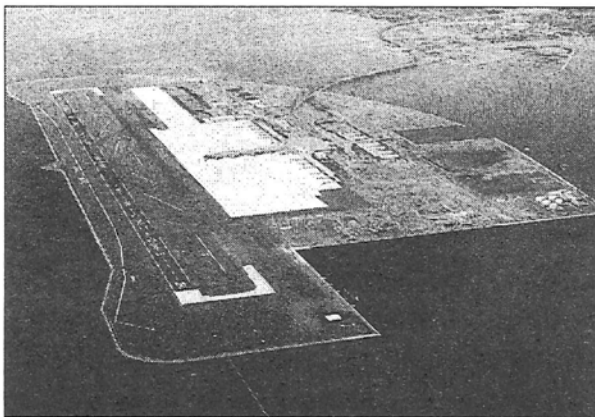
以上



東海支部「特報」及び活動状況

東海支部長 横井 保夫

1. 中部国際空港セントレアが2月17日開港いたしました。成田、関西空港に続いて24時間発着可能な日本で3番目の本格的国際空港です。ステイ先への行き帰りが一段と便利になりました。名古屋から30分で行ける便利さもあって、開港2月17日以来毎日大勢の見物客で賑わいを見せており、1日で10万人を超える日もあったとか。東海地方の人達のエネルギーを感じております。



中部国際空港（愛知支部）中日新聞の取材記事「夢の空港」
掲載期間 2004年2月25日～3月25日

2. 東海支部フィリピン体験ステイ旅行を実施。
11月に8名にてマニラ、ダバオ、バギオに繰り出し、各支部長様には大変お世話になりました。大変良かったことで、もう一度行こうと、今年に入って9名が体験ツアーに行かれました。

バギオ支部長齋木様ML南国レポート及び会報春号584岸様のご寄稿をご参照ください。

3. 東海支部チェンマイ体験ステイ旅行。
12月から2月にかけて10名が避寒をかねてチェンマイにステイいたしました。チェンマイではチェンマイ支部サロン会、ゴルフなど、伊沢支部長、又ロングステイ中の南の会の皆様にお世話になりました。

4. 東海支部例会、サロン会、懇親会、平日サロン会について。
そのつど御案内を出してはませんが、例会、サ

ロン会は毎月第二日曜日13:00より16:30まで愛知県青年会館にて懇親会は、例会サロン会の後、17:30より名古屋観光ホテルの”ジャルダン”にて行っております。平日サロン会は毎月第3月曜日（例会サロン会の次の週の月曜日）11:00より名古屋ターミナルホテル9階”エスペランス”にて行っております。第三月曜が祭日の場合は翌日です。東海支部以外の方でも大歓迎です。名古屋に来られたらぜひご参加ください。お問い合わせは東海支部役員にどうぞ。

5. 東海支部活動の特記事項

(1) 3月25日～9月25日 愛知万博

愛知地球博に東海支部643鈴木様がアテンダントとして活躍されます。（難関な選抜試験を突破）長久手会場の外国間区域（グローバルコモン）6 オセアニア、東南アジアで活躍されます。東海支部では5月のサロン会の日に鈴木様にご案内いただくことに予定しております。

(2) 3月12日 愛知県常滑市国際交流協会にて東海支部副支部長554笠井様、催事担当749山本様が講師として、常滑市と友好関係にあるマレーシアについて講演をされます。

(3) 3月13日 南の会役員総会に東海支部副支部長94高橋昭様にご出席願います。

以上

南国暮らしの会九州支部新年サロン会報告

九州支部長 稲延 豁

●日時 平成17年1月9日(日)午後1時30分～4時30分

●場所 福岡市NPOボランティアセンター

●出席者 支部長 (128) 稲延夫妻(2)

副支部長 (30) 竹村毅俊

(153) 堤 邦彦 (249) 岡村夫妻(2)

(378) 石原博明 (581) 朝永夫妻(2)

(651) 穴見夫妻(2) (652) 深松幸康

(701) 手嶋邦人 (758) 白井征勝

(851) 稲田 聰 (868) 近藤母子(2)

非会員 淵田夫妻 永田 国武 青柳

●会議内容

- 1 支部長挨拶 ・初めての参加の人も多かったので南国暮らしの会の設立の経緯と5周年記念事業についての説明、記念旗の披露さらに九州支部のこれまでの活動内容等について説明。
- 2 自己紹介 ・40代前半から70代後半までの多年層に亘る会員でも夢に託す思いは年齢に関係無くきらきらと輝き気持ちはみんな青年そのものだった。

3 旅の報告

■「南の会」5周年総会参加報告……稲田

昨年10月に入会したばかりだったが総会に参加出来、非常に感動した。

中でもJTB金子会長のベスト10は時間が足りなかった。

初対面の人ばかりなのに10年来の知己のごとく親しくうち解け、

話が盛り上がったのは共通の目的、希望を持っているからだと強く感じた。

■スービックでの治療体験記……岡村

昨年10月の九州支部のフィリピン下見旅行でスービックのメディカル

センターを訪れ、脳梗塞の治療によいと聞いたので、11月9日から

27日まで行って来た。治療費が高すぎるように感じた。

治療代、滞在料、食事代すべて込みで2週間で17万円。

再度出かける予定にしているが値引き交渉をしたいと思っている。

気候は確かに良いので、体にはいいと思う。

■スービック・パンガシナン・バギオ旅行報告……穴見、朝永

記録ビデオを放映しながら説明。

- ・スービックでは海軍博物館、スービック湾都市開発庁インベストメントセンター、トロピカルリタイアメントビレッジ、メディカルセンターを訪問、医療や介護を重視してあるだけに、健常者がすぐにLSをするという点では割高感がある。

- ・パンガシナンはバギオ支部長齋木邸を訪問。南国メールで紹介済みの齋木様御用達のリゾートホテルを利用、一室一泊2200円。のどかな田園風景で郷愁感を覚える。
- ・バギオは会友の山田邸訪問。バギオカントリークラブ、キャンプジョンヘイの2大ゴルフ場、ケノン道路、バギオ大聖堂、ライト公園での乗馬体験、1泊50円の別荘風景等を報告。日本の食材はすべて揃う事を自分の目で確認した。

■フィリピン関連でマバラカット特攻隊除幕式ビデオ視聴……深松
テレビで放映された特攻隊除幕式の模様を部分的にカットして視聴

■セブ旅行報告……白井

日本語しか話せないが一人で渡航できるかどうかメールであちこちに問い合わせ、セブの支部長さんから大丈夫というメールをもらったので一人で出かけた。セブに着くやいなや歓迎会から始まり、滞在中現地会員の方々と十分すぎるくらいのコミュニケーションを取らせてもらった。

ロングステイを成功させるために思ったこと。

- ・夫婦の場合、奥さんが積極的であること
- ・家庭の理解、本人の強い意志がないと一人でのロングステイは無理、誘惑が多い。
- ・年金だけでは描いているロングステイは無理。日本食は日本と同じくらい費用がかかる。
- ・サラリーマン上がりのロングステイヤーはほとんどいない。
自営業で成功した人が多い。
- ・移住してしまうのはリスクが大きい。いざというときの逃げ場が無いとため。
- ・すぐ傍にいつでも相談できる人がいないと無理。
- ・対人関係も難しい。トラブったときどうするかを常に考えておく必要が或る。

■ペナン再訪問報告……深松

旅行会社のキャンペーンでの4泊6日の格安ツアーで再訪問となった。

今回の目的は

イ、LSのためのコンド、ホテルを探したい

ロ、ゴルフをする

ハ、そば打ちをペナンで試みたい

丁度訪問の時期が祭りと重なり不動産屋は休み、人はいっぱい、イもロもあえなく断念。ゴルフは他の地でプレイすることとなった。

そば打ちは大成功、現地の会員さんにも喜んでもらった。

包丁、粉板、麺棒とざる用出しを持参した。

これでどこに行っても趣味のそば打ちが出来ることを確信した。

そば文化を広めたい。

4 今後の方針と検討事項

- ①旅行のやり方について……支部としての団体旅行を計画するのではなく、行きたい人が行き先と時期を決めてメールで案内し同行者を募る。
- ②情報の共有を図る……九州支部のホームページを作り、福岡発格安航空券情報等の情報を共有する。パソコン・携帯メールがない人には各県担当を決め、FAXで連絡する。
- ③年間スケジュール……4月総会(花見) 7月、10月、1月サロン会

④連絡網の整備……メール連絡できない人に今は支部長が一人でFAXと電話で連絡をして大変。連絡網を早急に整備する。

会議終了後、19名の参加で歌声喫茶を借り切り懇親会。

会議の延長の話もつきない中で、酋長(支部長のニックネーム)が口火を切って歌謡タイムに切り替わりマスターのギター演奏に合わせての大合唱になった。

全員ほろ酔い加減で若きよき時代にタイムスリップし、それはそれは第九の大合唱には及ばないものの、見渡す限りの顔には喜びがあふれ、満足感で音程の狂いなど問題では無かった。

曲目は 青い山脈、青春時代、蘇州夜曲、仕事の歌(ロシア民謡)、いい日旅立ち
見上げてごらん夜の星を、昴、たき火、北国の春、若者達、等々

ほんとに楽しいひとときだった。名残惜しくて、バスや電車で帰る時間を気にしないでいい人達は2次会、3次会と翌朝1時30分まで交流を深めたとの報告があった。まだまだエネルギーは十分温存されている。LSも十分楽しめる事が証明された。



ダバオ支部報告「日本語スピーチコンテスト」

ダバオ支部長 平野 雅一

先週の土曜日(3/19)にフィリピンマニラにて毎年恒例の日本語スピーチコンテストが開催されました。そのコンテストでなんとうちの大学(ミンダナオ国際大学)の学生が優勝しました。開校3年目と歴史の浅い大学から優勝者を出せ喜んでおります。

この優勝した学生は昨年5月に「福祉交流と教育交流」のために日本に連れて行った学生4人の中の1人です。日本滞在中、3日間は東京にある老人ホームを体験させました。その時の体験をもとにした日本語スピーチの内容でした。

優勝はあくまで結果に過ぎませんが、そのスピーチの内容に私は感動しました。

日本の問題点を的確に突いています。また、フィリピン人の考え方がよく解ります。ここにその原稿を紹介します。

日本語スピーチコンテスト原文

イサベルさん

母と私が抱きしめあうと、その上から父が私たちを抱きしめました。私は両親に11日ぶりに会えてとてもうれしかったのですが、それと同時に複雑な気持ちを感じていました。

私は今まで空港で数え切れないほどの出会いと別れを経験してきましたが、この夜は何かが違っていました。私は日本から帰ってきたばかりでした。

今回のステイーツアーでは、日本の老人ホームを訪問しました。とても特別で、意味のあるものでした。

最初私は、自分は場違いのような、とても不安な気持ちになりました。しかしひとりで生活をしている日本人のお年寄りに会ったとき、その気持ちは、彼らを助けたい、お世話したい、という素直な気持ちに変わりました。日本で初めてお年寄りに会って、そして彼らが年をとっているにもかかわらず一人きりであるという現実を見て、私は心を動かされました。老人ホームで私は、痴呆やアルツハイマーの人たちのお世話をしました。一緒に遊んだり、運動をしたりしました。私は彼らの部屋を掃除したり、お茶

や食べ物を用意したりしました。

人のために何かをすると、本当に無欲になれました。なんとすばらしいことでしょう。私がお世話していたある84歳の女性が、私の隣に座りました。そして私の手を握って、目を見てこう言いました。「愛しているわ。あなたは私の娘みたいよ。」私は涙をこらえるのに必死で、彼女の娘さんについての話がよく分かりませんでした。そしていろいろなことを考えていました。「痴呆の女性がどうして娘さんのことを思い出したの？彼女の娘さんは、母親が娘のことを思い出して寂しい思いをしていることを知っているの？」老人ホームを離れるとき、彼らからの“ありがとう”と“さようなら”にこたえるのがやっとでした。とてもさびしい気持ちでいっぱいでした。

フィリピンに帰る途中で、私は日本人のお年寄りの状況を考えていました。日本には、お年寄りが必要な施設や食べ物があります。ケアギバーやボランティアもいます。しかし、一番必要で大切なことがありません。それは家族です。日本は社会福祉の分野において、フィリピンの援助が必要です。ケアギバーもちろん必要ですが、それ以外に、家族からの思いやりやささげがもっとも必要だと思います。

日本人は生活の忙しさに、年老いた両親のことを忘れてしまったのでしょうか。日本人が、考え方を変えなければならないときが来たと思います。年老いた両親を介護することは仕事ではなく、尊敬や愛によってされることなのです。そして、国際学科で習ったことを使って、私はそのことを気づかせるために何かしたいと思っています。日本人の考え方を変える方法を見つけたいです。ですから私がフィリピンに着いたとき、空港で両親を抱きしめる腕に力がこもりました。そしてもし私たち家族に必要な施設や食べ物がなくなっても、私たちはいつも一緒にいようと思いました。

私が両親を抱きしめたことは、いつもとは少し意味が違っていました。それは老人ホームにいたお年寄りたちへの、一番大切なことを忘れてしまった忙

しすぎる息子、娘たちからの抱擁も意味していたのです。

いつか、私は私のやりかたで、日本人の考え方に影響できることを信じています。そしてこのスピー

チからここにいらっしゃるあなたにも何かを残すことができると望んでいます。

(2005年2月23日付けMLより)

バギオ支部報告 「よさこい連、パレードの人気独占」

バギオ支部長 齋木 一

バギオでは、毎年何回かのパレードがあり、訪れる観光客を楽しませてくれますが、何と言っても最大のイベントはフラワーフェスティバルのパレードです。

2日間に亘って繰り広げられるパレードは、初日が行進、2日目が花の山車に分れます。2日間でバギオの人口とほぼ同数の約30万人が詰め掛けると言われています。

2月26日に行われた行進のパレードに今年初めて日本から「よさこい連・正式名称舞えど連」が参加し、1時間に亘るパレードの先頭を切ってバギオの中心、セッションロードの両側の鈴なりの観客の人気を独占していました。

この「よさこい連」は茨城県江戸崎市から来られた6名のご婦人達で、会員の戸高さんのご紹介でした。皆さん会の会員ではありませんでしたが、バギオ支部として、会の知名度向上と、日比親善に効



市長等VIPに続くグループ参加の第1組が「よさこい連」でした。

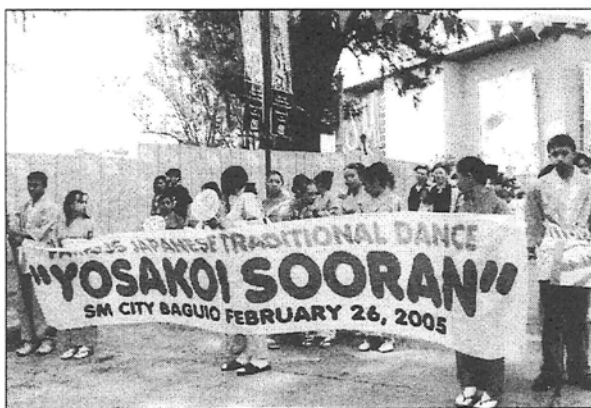
前日、滞在していたホテルを休日にも拘わらず訪問したバギオ市長との1時間以上に及ぶ懇談で、すっかり意気投合し、市長から「チャチャ」のダンスの手ほどき迄受けた連のメンバーに対する破格の待遇でした。

よさこい連の先頭には、バギオの比日友好協会の学生が掲げる新しい南国暮らしの会のスカイブルーの「会旗」が、士官学校生のフィリピン国旗に負けじとばかりに風を切って行進しました。

踊りながら歩くよさこい連の前後には、和服姿や、半被を着た会の会員や、友好協会が支援するフィリピン人学生、それに私の妻や娘も参加して、踊る連のメンバーと共にパレードをエンジョイしました。

60年前の丁度この頃は、パンガシナンの平原の激戦や、マニラ攻防戦も日本軍の敗退でほぼ決着が着き、最後の砦としたルソン島北部山岳地帯の拠点バギオは連日米軍の猛爆撃を受けていました。

地元ベンゲット州のフィリピン人男性の多くはゲリラとして抗日戦線に参加し、日本人とは敵味方に分れて戦っていました。バギオは4月末の陥落(フィ



果大と考え、全面的に支援しました。

当日午後2時にバギオの中心SMモールからスタートしたパレードは、制服姿も凛々しいフィリピン士官学校候補生の行進に始まり、上院議員、州知事、



リピンでは解放)迄にほぼ廃墟と化したそうです。

今、その恩讐を乗り越え、不幸な過去を忘れ去り、日本から来たたった6人の「祭り踊り」のグループを大きな歓声と拍手で迎える沿道を埋め尽くしたフィリピン人を見た時、これからも日比の友好の為には努力を惜しむべきではないと、改めて強く感じまし

た。

パレードに浴衣姿で参加したフィリピン人の私の妻と、会員の松井さんがご持参下さった着物で、観客に向かって手を振る娘ナオミの姿を見て、これからの私達のこの国での明るい未来を確信しました。

私がこの国で生活を始めてそろそろ6年になります。その間試行錯誤を繰り返しながら、いろいろとボランティア活動にも取り組んできましたが、矢張り、個人の力には限界があります。

今回の「よさこい連」のお手伝いをさせて頂いて、会員の情報提供や協力と言う「組織の力」を再認識しました。会があつてこそ、会員の力強い協力があつてこそ今回の「大成功」でした。

パレードが始まり、第1歩を目抜き通りのセッションロードに踏み出した時の、あの身震いする様な感動をまた味わう為、日々の会の活動に今後も積極的に取り組もうと改めて強く心に誓いました。

ペナン支部報告 「南国暮らしの会員の皆様へ」

ペナン支部長 木村 義光

昨年暮れも押し迫ったあの朝、思えば仰天のスマトラ地震、大津波・被災は20万人の死者を超え未曾有の世界的規模の災害でした。

あの際、「南国暮らしの会員」の皆様のご心配とお見舞いの電話、メールに、は私達「南国暮らしの会ペナン島支部員、旅行者」は大きく励まされました。支部を代表して重ねて御礼を申し上げます。

ペナン島は周辺被災地に比べ被害は少ない方でしたが、それにしても、60数名以上の死者を数えました。

死者数が膨れ上がった原因の多くは現地の人々に「津波の経験」が全く無く対処できなかったこと、と情報の伝達システムが完備されていなかったと私も思います。

タンジョンブンガあたりの海は普段まるで湖のようで未だかつて白波が大きくうねるような海を見たことはありません。あの日、私達夫婦は我が家のベランダで5年間住んで初めてみる海に「今日は太平洋のよう」波が高いなあ、なんて呑気なことを言ってい

たのです。

あの時、襲い掛かる大波の中で一生懸命泳いで逃げる人が次第に波に飲み込まれる姿を我が家のベランダで目撃してしまいました。しかし、助けることも何も出来ず、ただ呆然と見ているだけだったのです。

中にはマレーシア人家族6人で始めて海に泳ぎに来て全員波に飲み込まれてしまった不運の一家もいます。日曜日には必ず海へ釣りに行っていた日本人夫妻はこの日に限り日本に帰国中で助かった例もあります。「運が生死を分けました。」そして、自然の大なる力には人間がいかにも無力なのかも。。

ペナン島は復旧が進み、町は今までのように活気を取り戻し、恐ろしいあの日の出来事は時間ともに人々の記憶のそこに沈んでいくかも知れません。

しかし、「ペナン島に地震は無い」と言う神話に近い意識は危険と言うことが実証されました。

「ペナン島にも地震がそして大津波まであったのです。」

一方、感心したことは、「近頃なんや、かんや」言われる外務省の出先「ペナン領事館」職員がいち早くペナン島在留届けをしているステイヤーに一人ひとり電話をして「安全確認」をしていたことです。当たり前と言ってしまうとそれまでですが、一時帰郷して日本に滞在している人にまで確認の電話が来たと聞いて、彼らも頑張ってくれているんだ、との思いを強く感じました。

海外にステイする者は領事館に「在留届け」は絶対しておくべきと改めて思いました。

また、昨年私達はペナン島で「マンション火災」も経験しました。

私達夫婦と小野雅敏さんご夫妻が住むコンドミニアムの上階の火災です。

燃え上がる12階にはしご車が届かず11階をプール状にして階下への延焼を食い止めるのに躍起となる消防士、あちこちで水漏れしているホース、避難する住民の悲鳴、駆けつける消防車のサイレン、…。私達は喧騒の中で海外での生活に不安を強く感じたのです。

以下が火災の顛末です。

火事の第一発見は朝8時で、消防車の到着は10時ということでした。私達がゲートを出発したのが7時ですから、すでにその時は火災現場室内はくすぶり始めていたのでしょう私達がゴルフ旅行の浮かれた気分ではなく上階を見あげたならば、煙が見えたかも知れません。

消防車の放水が12階まで届くのは一台しかなく、コンド敷地内に消火栓がいくつもあるのに何故かふもとから長いホースを引いていて、それも何箇所もの穴から漏水していました。

そんなわけで、消火に手間取り、最上階のペントハウス2軒は全焼でした。

消防関係者は12階の全焼はすでにあきらめているように私には見えました。階下の11階は水浸しでプール状態です。火の粉や焼けた雑多なものが雨のように降ってきていました。現場が最上階だったから、まだよかったものの階下からの出火だったら火は吹き抜け部分からたちまち全戸に広がっていたと思われる。

私達、階下の住人には不幸中の幸いでした。

火災の原因はペントハウスのエアコンのオーバーヒートと言われています。

全焼の12階のペントハウス(高級室)は1週間前にデラックスな室内内装が完成したばかりで、部屋の

オーナーのご主人は、燃え落ちる我が家を見上げながら肩を震わせて泣いていました。類焼でした。コンドはまるで、きのこの頭部分をもぎ取られたような無残な姿に変わり果てました。

ペナン島のコンド(マンション)のベランダには避難ハッチがないのです。隣室との隔壁がコンクリートで仕切られている。(ベランダが隣室に通じていながら隣家には逃げられない)。非常階段には玄関からしかでられません。玄関からの避難ができなければ逃げる道はベランダのみです。非常階段が細く急で大勢で同時の避難は危険です。消防の能力がいまいちと思われます。など、危険因子がいっぱいです。(HOTELにもいえます)

地震、火事、津波、その他の災害は日本だけでは無いのです。海外では情報ととっさの味方ヘルパーが非常に少ないのは当然です。

- 1、懐中電気は常に用意(充電しておくこと)。
- 2、貴重品(パスポート、取り敢えずの現金)は持ち出せるように。
- 3、水(ペットボトル)数本。
- 4、3日～5泊くらい避難生活の用意。
- 5、火の粉が舞い入るため窓を閉めて逃げる。
- 6、二階位、階下にベランダから逃げられるよに縄梯子、ロープなど考える。
- 7、携帯電話と充電機の用意。
- 8、避難階段をよく検分、精査しておくこと。
- 9、情報の確保の為、会員同士の連絡網をきちんとしておく。
- 10、領事館に在留届けと緊急連絡電話は申請しておく。
- 11、日本の家族、親戚、友人などとの連絡網をきちんとしておく。
- 12、怪我や持病、などへの緊急薬を用意。
- 13、ローカルの友人を作っておくこと。

などの注意点を考えつきました。

外国での生活はマスコミが伝えるほど素敵なことばかりではありません。良い点だけでなく「欠点を知り」備えを完全にしないと予想しない悲劇に遭遇するかも知れません。

これから海外でロングステイを目指す会員の方々に私達の経験が少しでもお役に立ったら幸いです。

「南国暮らしの会」会員の皆様、今年も「ペナン支部」を宜しく願い申し上げます。

2005年3月現在の「ペナン支部」会員 敬称略

No12 大橋績・敬子
No18 木村義光・まゆみ
No263 加藤進・るみ子
No381 鈴木伸一・由美子
No494 佐々木三郎
No495 石原彰太郎
No523 小林康紀・一子
No568 竹岡隆志・啓子
No661 小野雅敏・恵子
No813 石渡清志・典子
No830 舟生孝・千祥子

2005年3月 ペナン支部 木村義光 まゆみ

<編集局より>

木村様は、平成17年3月末日をもってペナン支部長を退任されました。

*ペナン支部の役員が決定しました。

- ・相談役 ; No12: 大橋 績、
- ・相談役 ; No263: 加藤 進
- ・支部長 ; No568: 竹岡 隆志 (敬称略)
- ・副支部長 ; No495: 石原 彰太郎
- ・総務部長 ; No381: 鈴木 伸一
- ・会計部長 ; No661: 小野 雅敏
- ・渉外部長 ; No813: 石渡 清志
- ・会員担当 ; No523: 小林 康紀
- ・会員担当 ; No830: 舟生 孝

上記のごとく、ほぼ全員体制で皆様からご協力頂きながら、偉大な前支部長の後を引き継いで参ります。宜しくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

平成17年4月1日

ペナン支部 竹岡 隆志



友好団体の案内

* (財) ロングステイ財団

心のゆとりと豊かさを実感させる「ロングステイ」
ロングステイ財団は、ロングステイメンバーズク
ラブの会員を募集しています。

詳しくは下記へお問い合わせください。

Tel : 03-3505-4477. Fax : 03-3505-4433

E-mail: info@longstay.or.jp

URL: http://www.longstay.or.jp/

東京都港区東麻布1-28-2 (第六文成ビル2F)

- ・月～金 ; 9:30～17:00
- ・祝祭日 : 休み
- ・責任者 : 事務局長 神山修一

* ワールドステイクラブ (WSC)

本クラブは【世界で作ろうシニアの生きがい】を
スローガンに、海外旅行・滞在生活を通じて精神
的な充実と生きがいを求める親睦団体です。

住所 : 〒162-0827 新宿区若宮町37 セレブビル2F

Tel/Fax : 03-3268-2731～2732

URL: http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/

入会方法 : 申込み資料請求 (要500円・郵券可)

創立 : 1995年11月

・会員数 : 約900名

代表者 : 西 博

- ・入会金 : 5,000円、
- ・年会費 : 6,000円

* チェンマイ ロングステイライフの会【CLLクラブ】

・ロングステイの為の案内、相談及び入会受付、
「南の会」の会員も多数入会されています。なお
事務所では会世話人が対応しております。

・入会資格は会員の推薦又は事務所での面接によ
ります。

・主な催し : 1ヶ月2回の例会、週2回のゴルフ例
会 (1ヶ月1回のコンペ)、ソロバン・パッチワーク・
ブリッジ・料理・ダンス教室等。

・会報 : 毎月発行 (現在カラー版4頁)

・その他 : 図書 (蔵書2500冊) 室にはPCも常設。

・事務所 : タイ日センター2階 [軽食堂エビス内に
昇降階段] 《チェンマイ プラザ ホテルの左隣》

電話 : 053-81-9270

・会員数 : 約100名

事務所開設日時 ; 月～金 : 14時～16時

- ・入会金 : 無料、
- ・年会費 : 600B (男女問わず)
但し家族会員は480B。

お知らせその他

理事長 酒匂 景輝

* お詫び

- ・新年号の海外会員メールアドレスミス掲載

平成17年新年号の44頁に掲載の海外会員名及
びメールアドレスは、退会者会員などのデータ
も掲載してしまいました。深くお詫び致します。

今後は個人情報保護のため、会報には掲載せず
会員名簿綴じ込み「海外在住/ロングステイ会員
名簿」に登録のあった方々の滞在先とメールアド
レスを掲載します。

有効に、また慎重にご利用ください。

* お知らせ

- ・フィリピン退職庁お役人との懇談会

場所 : ホテルニューオオタニ

参加者 : フィリピン大使館商務部 : 山家氏

参事官 : マウイノ T. ハレコス氏

フィリピン退職庁 : Mr. Anmin Santos

南の会 ; セブ支部長 : 川上氏、理事 : 村松氏、

理事 : 菊池範夫氏、梶村氏、酒匂

(1) ビザ関係

Q1 退職者ビザ取得用銀行預金の半減計画?

A1 5名を超えない外国人グループ申請で、
グループで5万ドルの預金で良いが、色々
な条件が付、2年以内に2戸以上の住居、
夫々の価格が10万ドル以上。2ヶ月ぐらい先
には実施される筈。(実施要領作成中)

Q2 退職者ビザを取得し滞在出来なくなった
場合、日本居住中の相続人が容易に解約
出来ますか?

A2 本人のサインが必要で、死亡の場合は
遺言書を事前にPRA/銀行に提出して置く
と解約できる。

Q3 Q2で相続人が50歳以上になっていて、
親の退職者ビザを相続出来ますか?

A3 ビザの相続は出来ません。但し預金の相
続は出来ます。

Q4 50歳以下の若い会員がNGO活動でビ
ザを取得したい人がいます。退職者ビザとは
関係ありませんが教えて下さい。

A4 クォータービザというものがあります。

4万ドルの見せ金と30万円程度の取得費用
が掛かります。年間50人の日本人が取得す

る事ができます。数に限りがあるので、いつでも取得できる訳ではありません。

・正式回答はSSRV（マニラ）職員の日本人スタッフ志賀様です。（H17、4、14受け）

(2) リタイアメントリゾートビレッジの件

フィリピンのBELLEグループで、タガイタイのリゾート地に日本人退職者向けのビレッジを検討している。日本人の参考意見を聞きたいとの事で、意見交換を行う。要旨

- ・土地は会社の物で、上屋を売却する。
- ・家100平方mで¥800万程度を考えている。但しゴルフ会員権、健康ジムなどの利用権付
- ・体験ハウスも在るので10名程度招待OKとの事。

*総務担当より

担当理事；◎宮寄、○菊池功、・高田、

3月12日に16年度第6回理事会を行い、17年度事業計画及び予算などが審議されました。事業計画と予算については、その後更に検討を重ね4月9日の第7回理事会で最終的に承認されました。その結果は本春季号本文に掲載の通りです。

また昨秋季号で実施しましたアンケート調査結果に基づき、以下の各項が承認されました。

・意識調査集計結果について

a) メーリングリストは広告に関する細則を変更し、現状維持とする。

b) 現行様式の会員名簿は理事・支部長などに限定し、会員には限定された内容のものに変更する。具体的内容は会員担当理事に一任する。（個人情報保護法を遵守する観点から）

c) 住所変更無届者への会報再送付は有料とする。

・16年度理事会議事録は本会報には添付しません。今後、決算や総会などの審議を理事会に諮らねばなりません。会報夏季号に添付予定です。

*会員担当より

担当理事；◎高田、○平賀・小林・酒匂

1、会員動向

・17年度会員数：502組（平成17年4月5日現在）
内訳 継続会員数：450組 新会員数：52組
家族会員を含むと840余名です。

2、会員名簿の配布

会員名簿は毎年7月末に配布してましたが、今年度は4月末に配布と致します。また、本17年度会員名簿より記載内容を会員番号、氏名、在住都市、メールアドレス、備考とする事に理事会で決議しました。従来の名簿より簡略化されています事をご了解願います。

理由は、本南国暮らしの会は例え商売目的で入会しようとしても審査して入会を拒否する事は出来ません。従って本会の目的でない理由で入会しようとする人でも自由に入会できます。

平成17年4月より個人情報保護法も施行され、私達の個人情報漏れを防御の観点から、出来得る限り会として防ぎたいと考えております。

尚必要がある場合は支部長、理事、監事は従来通りの名簿を持参しておりますので、理由を添えてお問合せ下さい。

3、パソコン同士による無料電話（世界中）

スカイプ（Skype）の紹介と資料配布

会員No.876：深井弘雄氏のメール情報で、南の会パソコン教室で講師の宇野先生に調査を依頼し実行しました。このスカイプというソフトは今話題のライブドアがスカイプ社と提携し、ライブドアのホームページからダウンロードできます。

素晴らしい性能で高音質は隣で話している様。また資料等も話しながら送信出来、5台での会議も出来る代物です。

兎に角無料で世界中電話が出来るとは魅力です。嘘のような本当の事です。

但し利用回線が光、ADSL,ISDN回線でなければ無料ではありません。

初期の頃の電話回線（ダイヤルアップ）での接続は、プロバイダーまでの電話料が掛かります。例えば埼玉県の方がプロバイダーは東京ですと市外料金になります。外国の人と話す場合は割安ですが。

本件は理事会に諮り、当分は会としてはタッチせず、会員の皆様に紹介し自己責任で資料を参考に接続して頂く事にしました。

会でタッチするには規則など必要かと思えます。無料で何時間でも話せると、受信した方では何も出来なくなり、迷惑電話になるなど良識ある取り扱いをお願いします。

以上

<編集局より>

春季号発行に当たり、寄稿いただきました会員様、ならびに編集にご協力いただいた皆様にこの場をお借りし改めて心より御礼申し上げます。

編集は、パソコン操作の未熟な担当にとってかなりの負担でした。特に、現役である為に作業が深夜に限られることが堪えました。それでも、「熱い思い」を綴った原稿を読ませていただいていると、その時は辛さも忘れて集中できました。

今般、編集を通じて深く思ったことは、是非近い将来「南の会」の事務所を構え、パソコンを設置して複数人で作業が出来ればということです。

お届けした会報を読まれる皆様も「熱い思い」に浸っていただけたら編集担当のこの上ない喜びです。

なお、今回の編集に当たり、多大なるご協力いただきました関東支部パソコン教室の“トータルサポートプラザ”の先生でいらっしゃる宇野先生と菊池様に厚く御礼申し上げます。

会員番号 740 渡辺 亜雄

E-mail: Aowatanabe@aol.com

次回「夏季号」は7月発行です。原稿締め切りは5月31日です。
会報は皆さんの会報です。経験や情報を是非多数お寄せください。

<編集委員>

会員番号 117 龍野 宏

E-mail: hirochan@rurbannet.ne.jp

Tel: 047-492-1178

会員番号 240 菊地 範夫

E-mail: noriokikuchi@hotmail.com

Tel: 044-287-0087

会員番号 655 島田 榮一

E-mail: sa.eiichi@r3.dion.ne.jp

Tel: 042-365-5287

会員番号 740 渡辺 亜雄

E-mail: Aowatanabe@aol.com

Tel: 047-425-3652

記事の無断転載、複製を禁じます

発行者 特定非営利活動法人 (NPO 法人)

「南国暮らしの会」

理事長 酒匂 景輝

〒140-0002

東京都品川区東品川 3-22-20-1208

TEL: 03-3472-9916 /FAX: 03-3472-9954

NANGOKUNANGOKUNANGOKU



NANGOKUNANGOKUNANGOKU